SoftBank

SoftBank X01SC

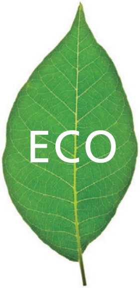
Starter Guide 使い方ガイド

Includes An English First Step Guide

このたびは、SoftBank X01SCをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- SoftBank X01SCをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- 本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
- 本書を万一紛失または損傷したときは、お問い合わせ先（➔P.110）までご連絡ください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

SoftBank X01SC は、3G方式とGSM方式に対応しております。



ソフトバンクは、はじめています。続けていきます。環境への取り組み。

請求書 ⇒ 電子化

紙の請求書に代わって、「オンライン料金案内」を導入。
紙資源削減を実現します。

申込書 ⇒ 電子化（一部）

従来の申込書による受付をやめ、オンライン受付を開始。
紙資源をなるべく使わない取り組みをはじめています。

個別包装箱 ⇒ 小型化

携帯電話販売時の個別包装箱の小型化を推進し、
省資源に貢献します。

取扱説明書 ⇒ 薄型化

従来の取扱説明書を1/3サイズにリニューアル。
詳しい説明はWebでご案内することで、無駄な紙を使いません。

目次

そろっていますか?

付属品を確認しましょう

①電池パック[SCBAV1]
②変換ケーブル[SCDAV1]
③データケーブル[SCDAU1]
④マイクイヤホン※

※試供品です。オプション品としてのお取扱いはございません。

取扱説明書をダウンロードしましょう

ソフトバンクモバイルホームページから、このケータイの詳しい使い方をまとめた取扱説明書(PDFファイル)がダウンロードできます。本書で説明していない機能やサービスも掲載していますので、ぜひご活用ください。

http://www.softbank.jp/mb/r/support/x01sc/

- X01SCの充電には、ソフトバンクが指定した充電器(オプション品)を使用してください。
- メモリカードをご使用になる場合は、市販のmicroSD™ ／ microSDHC™メモリカードを購入してください。

安全のために

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。

火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。
電話機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。



落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。



濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れた電池パックを充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。
使用場所、取り扱いにご注意ください。







本機・電池パック・充電器を、加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH 調理器）の上に置いたりしないでください。

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機と充電器の発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。



高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で充電・使用・放置しないでください。

機器の変形・故障や電池パックの漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。





ここがポイント!

本機では、電話・メール以外にも日々を楽しくさせる機能が充実しています。
ケータイを楽しく使いこなしましょう。

Windows Mobile®

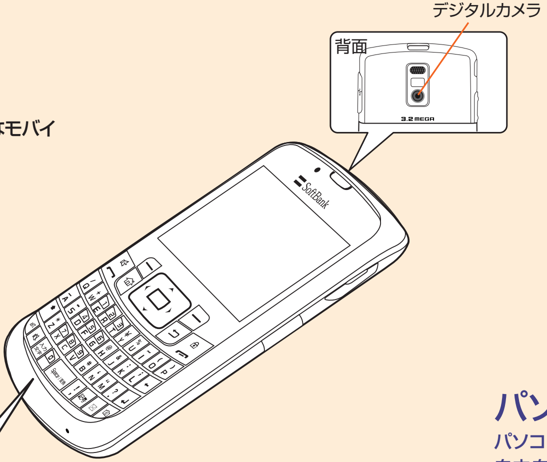
手のひらにWindows®が!

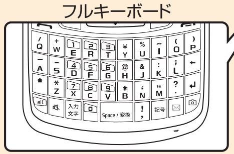
電話機能だけのケータイではありません。
メール(➲P.31)もインターネット(➲P.37)も、プライベートでもビジネスでも(➲P.49)快適なモバイルライフがすごせます。

スタイリッシュ・コンパクト

携帯性に優れたスマートフォン!

軽量・薄型なので、Yシャツやスーツの胸ポケットに入れても気になりません。





キーパッド

長文メールもラクラク♪

ローマ字変換での日本語入力がスムーズにできます。

実用的なカメラ

320万画素の実用的なデジカメ搭載!

操作は簡単、シーンに合わせて最適な写真がサクサク撮影できます。
笑顔にあわせて写真が撮れる「スマイル撮影」も搭載。
笑顔満載の写真がどんどん撮れます(➲P.45)。

パソコンとの連動

パソコンと連携して、アプリ追加などのカスタマイズも自由自在♪

パソコンやインターネット上から、モバイル用のプログラムを追加可能(➲P.56)。
パソコン側のActiveSync®やWindows Mobile®デバイスセンターを使ってメール、連絡先、予定表、仕事、お気に入り、音楽、動画、静止画などのデータを同期・バックアップできます(➲P.57)。

本書の見かた

操作説明の記載方法や本体キーの表記など、このマニュアルの見かたについて説明します。
記載している画面は、実際の画面と異なる場合があります。また、本書のイラストはイメージイラストであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

操作説明の省略のしかた

(スタート)▶「設定」▶「サウンド」▶「着信音」▶項目を選択

- ユーザーの操作を示します
- で目的の項目を反転表示し、を押す操作を繰り返すことを示します
- 押すキーを示します

本体キーの表記

前面		ナビゲーションキー
		左ソフトキー
		右ソフトキー
		ホームキー
		クリア／バックキー
		開始キー
		終了／ホールドキー
側面		電源／クイックリストキー
		サイド(上)キー
		サイド(下)キー

操作説明の記載方法

- 参照先です
- 見出しです
- この番号順に操作します
- 操作の内容です
- 初期状態のホーム画面を元に手順に記載しています
- 見出しです
- 別の操作方法を示します
- 補足や注記などを記載します
- 操作手順を省略して記載しています



使う前に覚えておこう

マナーを
守ろう!

携帯電話はマナーを守って快適に使いましょう。

気持ちよく使いたいから、マナーを守りましょう



電車の中では、周りの方にご迷惑にならないよう、ご注意ください。新幹線の中では、デッキなど迷惑にならない場所まで移動して使用してください。



レストランなどの静かな場所では、声の大きさに注意しましょう。サイレントやバイブレータをご利用ください。

多くの人の迷惑になることがあります



混雑した場所では、電源を切るように心がけてください。





映画館、劇場、美術館などでの鑑賞中や図書館などでは電源をお切りください。

安全のために使用が禁止されています





運転中は、携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因になります。運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となる場合があります。



病院、研究所など携帯電話の使用が禁止されている場所では、電源をお切りください。医療機器などに影響をおよぼす場合があります。



本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。

機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。



乗り物の優先席近くでは電源をお切りください。ペースメーカなど生命にかかわる機器に影響をおよぼすことがあります。



ゴルフ場など野外で雷鳴が聞こえたときは、落雷の恐れがありますので、使用しないでください。

セキュリティ対策は
万全に!

迷惑メールが届いたり、他人に操作されたりしないためにも、
ケータイを使う場合、トラブルを未然に防ぐための対処も必要です。

こんなメール･電話にご用心

迷惑メールの対策には

ソフトバンクは、S!メールとSMSのメールについて、悪質な迷惑メールをブロックする機能を用意しています。詳細については、ソフトバンクモバイルのホームページ(http://www.softbank.jp)をご確認ください。

設定手順

⊟(スタート)▶「SoftBankメール」▶「設定」▶「メール・アドレス設定」▶必要に応じて ⊟(はい)▶「My SoftBank」の「メール設定(アドレス・迷惑メール等)」のページに接続します。
以降は、画面のアナウンスに従って、迷惑メールブロックを設定してください。

> 手順は将来、予告なしに変更することがあります。

それでも届く迷惑メールは・・・

迷惑メール申告窓口
stop@meiwaku.softbankmobile.co.jp

暗証番号で身を守る

暗証番号には、以下の5種類があります。

操作用暗証番号

本機をお買い上げ時の状態に戻すときやMobile Trackerを利用するときの暗証番号で、お買い上げ時は「0000」に設定されています。
番号は、ご自分で変更することができます。

変更手順

⊟(スタート)▶「設定」▶「次へ...」▶「セキュリティ」
▶「次へ...」▶「リセットパスワードの変更」
▶「古いパスワード」欄に現在の操作用暗証番号を入力
▶「新しいパスワード」欄に新操作用暗証番号を入力
▶「新しいパスワードの確認」欄に新操作用暗証番号を入力
▶⊟(完了)

操作用暗証番号を使用した場合、入力した暗証番号は「****」で表示されます。

交換機用暗証番号

本機ご契約時に決めた4桁の数字です。
ご契約内容の変更や一般電話から本機を操作するときなどに必要です。

発着信規制用暗証番号

交換機用暗証番号と同じです。
入力を3回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。
続けて間違えた場合、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となります。

PINコード/PIN2コード

USIMカード用の4～8桁の数字です。
PINコードを有効にした場合は、電源を入れたときに必要です。
PIN2コードは、USIMカード内のデータを変更するときに必要です。
入力を3回続けて間違えると、PINロック状態になります。PINロック解除コードについては、お問い合わせ先(➔P.110)までご連絡ください。

USIMパスワード

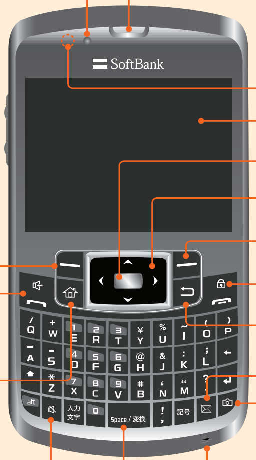
USIMパスワードを有効にした場合は、他のUSIMカードを使用するときに必要です。

ご注意ください!

- 操作用暗証番号や交換機用暗証番号、発着信規制用暗証番号は、お忘れにならないようにご注意ください。
万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先(➔P.110)までご連絡ください。
- 操作用暗証番号や交換機用暗証番号、発着信規制用暗証番号は、他人に知られないようにご注意ください。
他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- PINロック解除コードを10回続けて間違えると、USIMカードがロックされ、本機を使用できなくなります。
PINロック解除コードはメモに控えるなどして、お忘れにならないようにご注意ください。
- USIMカードがロックされた場合、ロックを解除する方法はありません。お問い合わせ先(➔P.110)までご連絡ください。

キー・本体各部のなまえ

表



光センサー
周りの明るさを感知するセンサーです。

光センサー部分は、手で覆ったりすると感度に影響します。
光センサー部分にはシールなどを貼らないでください。
保護フィルムなどを使用する場合は、光センサー部分に異物がないように注意してください。
異物があると、誤動作する恐れがあります。

レシーバー（受話口）

着信ライト

ディスプレイ

決定キー

ナビゲーションキー

右ソフトキー

終了／ホールドキー

クリア／バックキー

メールキー

カメラキー
カメラが起動します。
起動後は、シャッターになります。

マイク（送話口）

左ソフトキー

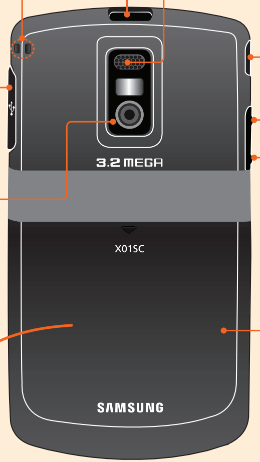
開始キー

ホームキー

サイレントキー
サイレントプロファイルの設定や解除に使います（2秒以上押す）。

変換キー
日本語入力時のかな漢字変換に使います。

裏



ストラップ取り付け穴
ストラップを付けられます。

スピーカー

電源／クイックリストキー

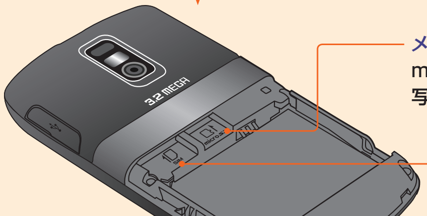
マイクイヤホン端子／充電端子／外部接続端子

サイドキー
音量をカンタン調節。

カメラ

電池カバー

電池カバーを外す



メモリカードスロット
microSD™ ／ microSDHC™メモリカードに写真やデータを保存できます。

USIMスロット

さあ、電源を入れてみよう!

あらかじめ充電をしておいてから、電源を入れてみましょう。
毎日使うケータイだから、充電状態に注意しましょう。

電池パックと充電器をご利用になる前に

初めてお使いになるときや、長時間ご使用になられなかったときには、ご使用前に必ず充電してください。
電池がほとんど残っていない状態になると、警告音とメッセージでお知らせします。そのまま充電をしないでいると、自動的に本機の電源が切れます。

充電方法については、電池パック(➲P.71)を参照してください。

電源の入れかた／切りかた

画面が表示されるまで を押し続けます。



ディスプレイ表示が変わります。





ホーム画面

電源を切るときは画面が消えるまで を押し続けます。

電話番号を確認する

お客様の電話番号は、固有番号の画面で確認することができます。

確認手順

(スタート)▶「設定」▶「電話」▶「固有番号」

バイブレータを設定する

(スタート)▶「設定」▶「プロファイル」▶「バイブ」

操作の基本

本機には、いろいろな機能の呼び出し方が用意されています。
1つの機能でもいろいろな呼び出しかたができるので、簡単に機能をご利用いただけます。

ホーム画面／スタートメニュー

ホーム画面とスタートメニューのスタイルは、(スタート)▶「設定」▶「表示」▶「ホーム画面」／「スタートメニューのスタイル」で変更できます。

スタートメニュー



本機のすべての機能は、このスタートメニューから使うことができます。

ホーム画面



パネル



を押すだけで、パネルに登録された機能を簡単に呼び出せます。

クイックリスト

を押すと、次の機能が呼び出せます。

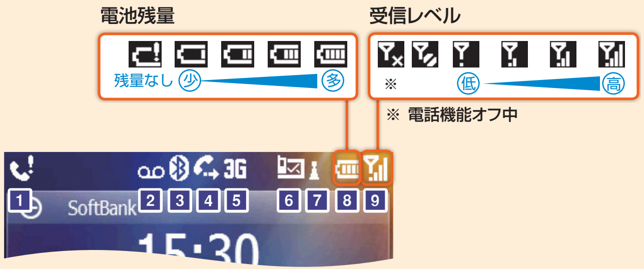
- 電源オフ
- ロック
- タスクマネージャー
- ワイヤレスマネージャー
- プロファイル(サイレントやバイブレータを設定)

ショートカットキー

キー	機　能
	通話履歴／着信通知／連絡先
／	ホーム画面の表示
(長押し)	タスクマネージャーの起動
(長押し)	誤動作防止の設定

キー	機　能
(長押し)	サイレントの設定／解除
	メールの起動
	カメラの起動
(長押し)	画面の拡大

アイコン・マークの意味



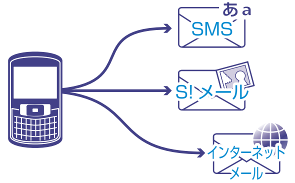
1	不在着信あり
2	未再生の留守番電話メッセージあり
3	Bluetooth®通信可能
4	無条件転送中
5	3G網使用可能
	3G網使用可能（ローミング）
	3G網HSDPA使用可能
	3G網HSDPA使用可能（ローミング）
6	S!メール／ SMSの新着メールあり
	インターネットメールの新着メールあり
	メール送信中
	配信確認あり
	スピーカーホンで通話中
	Bluetooth®を利用してヘッドセットに接続中
	サイレント設定中
	バイブレータ設定中
7	Wi-Fi利用可能
	Wi-Fi接続中
	Wi-Fi接続完了
8	USB接続中／充電中
9	音声電話通話中
	3G網データ通信中
	3G網HSDPAデータ通信中
	通話保留中
	USIMカードなし
	USIMカード無効

Windows Mobile®に慣れよう

Windows Mobile® が搭載された本機は、電話機能だけのケータイではありません。
メールもインターネットもデータ管理も、プライベートでもビジネスでも快適なモバイルライフがすごせます。

インターネットメール

S!メール、SMSだけでなく、Outlook®でインターネットメールも使えます（➔P.20）。



パソコンとの同期

USBでつなぐだけで、パソコンとデータを同期。
いつでもカンタンに最新状態にできます（➔P.57）。



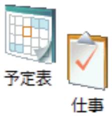
Office Mobile

ビジネスの定番のオフィスファイルも、ラクラク閲覧・編集できます（➔P.54）。



予定表／仕事

予定表／仕事を設定すると、登録内容を一覧表示したり、アラームで事前にお知らせしたり、忙しいあなたをしっかりサポートします。



RSSリーダー

気になるサイトやブログのRSSフィードを登録しておけば、いつでも最新の記事が確認できます（➔P.42）。



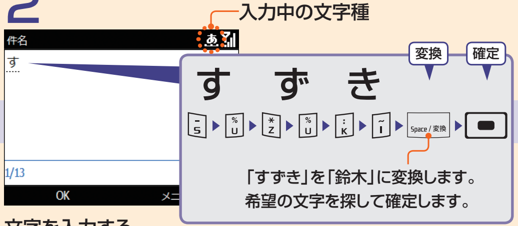
めざせ! 文字入力達人

1



文字入力画面にする
例：メール(➲P.33)

2

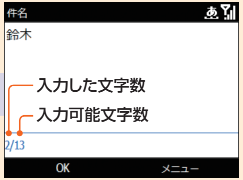


文字を入力する
例：「鈴木」と入力してみましょう。



予測変換機能を「オン」にする(➲P.19)と、自動的に候補の言葉が表示されます。

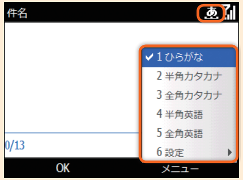
3



入力完了です。

入力する文字を切り替える

ひらがな／カタカナ／英字／数字



[key] + [入力文字] ▶文字種を選択
数字は、[key]を繰り返し押して、[12#]／[12#](連続入力)のときに入力

記号



[記号] ▶[key]で記号／絵文字を反転表示▶[key]▶⊟(完了)

絵文字



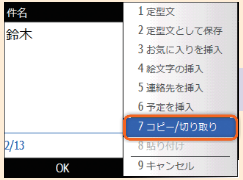
⊟(メニュー)▶「絵文字の挿入」▶[key]で絵文字を反転表示▶[key]▶⊟(完了)

顔文字

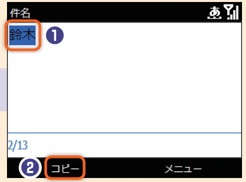


[K]▶[A]▶[O]▶[Space／変換]▶顔文字を選択

コピー／切り取り & ペースト

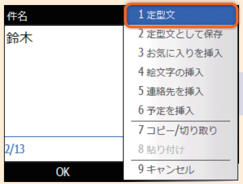


⊟(メニュー)
▶「コピー／切り取り」

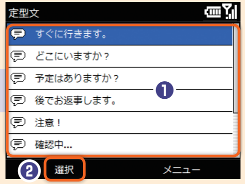


[key]でカーソルを移動して、範囲を指定▶⊟(コピー)

定型文を入力する

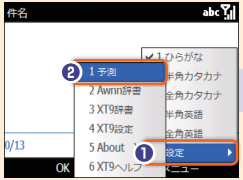


⊟(メニュー)▶「定型文」

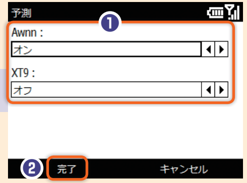


定型文を反転表示▶⊟(選択)

予測変換機能を「オン」にする



[key] + [入力文字] ▶「設定」▶「予測」



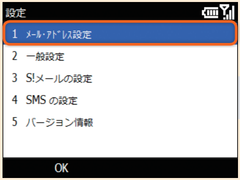
「Awnn」/「XT9」を[key]で「オン」▶⊟(完了)

好きなメールアドレスにしよう!

Eメールアドレスを変更したい!

Eメールアドレスを、半角英数字や「_」(アンダーバー)などの特殊記号を交えて長めに設定をすると、迷惑メールが届きにくくなります。

1



(スタート)▶「SoftBankメール」▶「設定」▶「メール・アドレス設定」▶必要に応じて (はい)▶「My SoftBank」の「メール設定(アドレス・迷惑メール等)」のページに接続します。

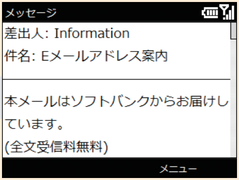
2



「ログインID」と「パスワード」を入力▶「ログイン」

以降は、画面のアナウンスに従ってアドレスを変更ください。

3



Eメールアドレスの変更が完了すると、ソフトバンクからEメールアドレス変更の完了通知が届きます。

インターネットメールアカウントの設定

インターネットメールのアカウントや社内メールのアカウントを設定します。

インターネットメール アカウントに関する注意事項

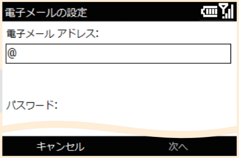
会社のExchange Serverのメールについては、ActiveSync®にて設定を行います。
設定方法については、社内システム管理者にご確認ください。

1



(スタート)▶「メール」▶「電子メールの設定」

2



画面の指示に従って操作

電話

電話をかける

電話番号を直接入力して、または「連絡先」から音声電話をかけることができます。

電話番号を直接入力

1



□▶電話番号全桁(市外局番を含む)を入力▶□



コールが始まり、相手を呼び出します。

2



相手につながると、接続完了が表示されます。
通話が終わったら、□

電話番号を間違えたときは

□を押して番号を消します。
□を1秒以上押すと、すべての数字が消えます。

自分の電話番号を相手のケータイに表示させないようにするには

□(スタート)▶「設定」▶「電話」▶「通話サービス」▶「発信者番号通知」▶「自分の発信者番号の通知相手」欄を□で「非通知」▶□(完了)

通話中の操作

- こちらの声を相手に聞こえないようにする
  通話画面▶□(ミュート)
- 相手の声の音量を調節する
  通話画面▶サイドキー(□／□)
- 一時保留する※
  通話画面▶□(メニュー)▶「保留」

※ご利用になるには、割込通話サービス(➲P.29)またはグループ通話サービス(➲P.29)へのお申し込みが必要です。

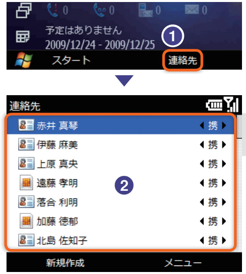
- スピーカーホンに切り替える
  通話画面▶□(メニュー)▶「スピーカーフォンをオン」
- ヘッドセットに切り替える
  通話画面▶□(メニュー)▶「ハンズフリーをオン」
- 連絡先を表示する
  通話画面▶□(メニュー)▶「連絡先」／「連絡先の表示」

※「連絡先の表示」を選択すると、通話中の相手の連絡先が表示されます。通話画面に戻るには、□を複数回押します。

連絡先から

◀連絡先の詳細(➲P.25)

1



□(連絡先)▶電話をかけたい連絡先を選択

2



かけたい電話番号を反転表示▶□(ダイヤル)

通話履歴から

1



□(スタート)▶「アプリケーション」▶「通話履歴」▶かけたい電話番号を選択▶□(ダイヤル)

もしくは　ホーム画面で□でも、通話履歴を表示することができます。

よくかける相手に電話をカンタンにかけるには

連絡先の電話番号を「スピードダイヤル」に登録すると、番号キーを長押しするだけで、簡単に電話をかけられます。

■番号キーの割り当て

□(連絡先)▶連絡先を選択▶登録したい電話番号を反転表示▶□(メニュー)▶「スピードダイヤルに追加」▶「キーパッドの割り当て」欄で利用可能な番号を選択▶□(完了)

■電話をかける

割り当てた番号キーを長押し

海外でのご利用

本機は世界対応ケータイです。海外でも利用できます。詳しくは、ソフトバンクモバイルホームページ(http://www.softbank.jp)を参照してください。海外にお出かけになるときは、「世界対応ケータイサービスガイド」を携帯してください。

日本からの国際電話発信

□▶□(「+」国際コード)、国番号、発信先電話番号(先頭の0を除く)の順で入力▶□

電話を受ける

1 着信が来たら・・・



■応答する
を押して通話します。

■通話を拒否する
（拒否）

2



通話が終わったら、

通話を拒否した電話は、不在着信として記録されます。

電話を受けられなかったときは<不在着信><留守番電話サービス>

ホーム画面の上部に不在着信のアイコン（）が表示されます。
不在着信通知パネルには、電話をかけてきた相手と着信日時が表示されます。



かけ直すには
「不在着信通知」パネルを選択▶かけ直したい相手を選択▶（ダイヤル）

もしくは 着信履歴からかけ直します（➲P.23）。

留守番電話を聞くには
ホーム画面▶▶で「留守番電話」パネルを反転表示▶（留守番電話）

◀留守番電話の伝言再生（➲P.28）

連絡先

本機には、Outlook連絡先とSIMカード連絡先の2つの連絡先があります。
それぞれ、登録できる内容に違いがあります。

項目	USIM	Outlook
名前／姓	○（姓と名の	○
名前／名	区別なし）	○
フリガナ（姓）	×	○
フリガナ（名）	×	○
画像	×	○
勤務先電話	○	○（2件）
携帯電話	○	○
自宅電話	×	○（2件）
着信音	×	○
電子メール	○	○（3件）
IM	×	○（3件）
会社代表電話	×	○
分類項目	○※	○
ポケットベル	×	○
自動車電話	×	○
勤務先FAX	×	○
自宅FAX	×	○
秘書の電話	×	○
PHS	×	○
Webページ	×	○
表題	×	○
勤務先	×	○
フリガナ（勤務先）	×	○
部署	×	○
役職	×	○
事業所	×	○
勤務先住所	×	○
自宅住所	×	○

項目	USIM	Outlook
その他の住所	×	○
メモ	×	○
ニックネーム	×	○
誕生日	×	○
記念日	×	○
上司	×	○
ID番号	×	○
アカウント名	×	○
カスタマー ID	×	○
配偶者	×	○
子供	×	○
秘書	×	○

【凡例】○：登録可　×：登録不可
※ 既定の項目から選択（項目名の追加は不可）

大切なデータを失わないために連絡先に関する注意事項

連絡先に登録した電話番号や名前などは、電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。
事故や故障でも同様の可能性があります。
大切な連絡先などは、控えをとっておかれることをおすすめします。
連絡先が消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

連絡先を登録する

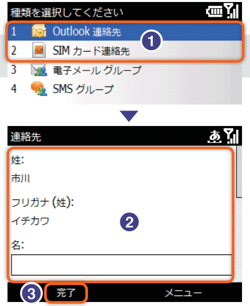
新規登録

1



ホーム画面▶⊟(連絡先)
▶⊟(新規作成)

2



連絡先の種類を選択
▶連絡先の各項目(➲P.25)を入力
▶入力が終わったら⊟(完了)

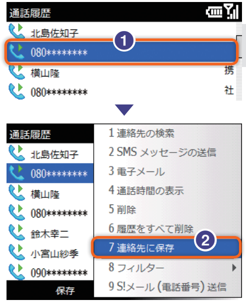
3



連絡先が登録されます。
：Outlook連絡先
：SIMカード連絡先

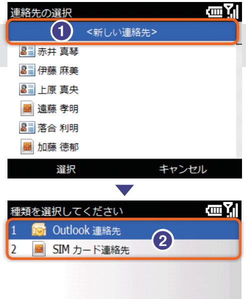
通話履歴から登録

1



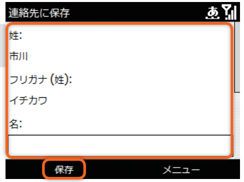
通話履歴を表示(➲P.23)
▶連絡先に登録する通話履歴を反転表示
▶⊟(メニュー)▶「連絡先に保存」

2



「<新しい連絡先>」
▶「Outlook連絡先」/「SIMカード連絡先」

3



新規登録と同様に、連絡先の各項目(➲P.25)を入力
▶入力が終わったら⊟(保存)

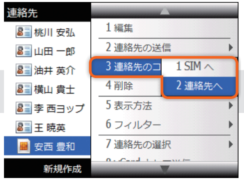
SIMカード連絡先をOutlook連絡先にコピーする

1



連絡先画面でコピーしたいSIMカード連絡先を反転表示▶⊟(メニュー)

2



「連絡先のコピー」▶「連絡先へ」

3



Outlook連絡先にコピーされます。

SIMカード連絡先は、名前の姓/名の区別がありません。Outlook連絡先にコピーしたときは、Outlook連絡先の「名」欄にSIMカード連絡先の姓名が入力されます。

連絡先の電話番号に登録できる内容

0～9の数字以外に、次の文字を入力できます。数字の入力方法については、「入力する文字を切り替える」(➲P.18)を参照してください。

文字	入力方法
#	#/B
*	*/Z
-	-/5

文字	入力方法
+(国際コード)	+/W
P(ポーズ)	⊟(メニュー)▶「ポーズの挿入」
W(ウェイト)	⊟(メニュー)▶「ウェイトの挿入」

オプションサービス

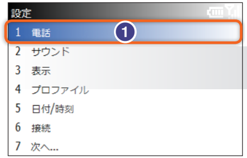
留守番電話や転送電話などのサービスをご利用できます。

留守番電話サービス

圏外時や電話に出られないとき、留守番電話サービスセンターで伝言をお預かりします。
着信お知らせ機能を利用すると、電源を切っているときや圏外時の着信も記憶できます。

留守番電話サービス開始

1

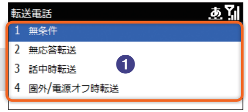






ホーム画面▶(スタート)
▶「設定」▶「電話」
▶「音声通話」▶「転送電話」

2





「無条件」/「無応答転送」/「話中時転送」/「圏外/電源オフ時転送」▶「通話の転送先」欄をで「留守番電話メッセージ」を選択
▶「無応答転送」を選択した場合は、「次の時間経過後に転送」を選択▶(完了)

留守番電話の伝言再生

伝言メッセージがあるときは・・・



ホーム画面で「留守番電話」パネルを反転表示▶(留守番電話)▶留守番電話サービスセンターに接続し、メッセージを確認できます。

もしくは 次の方法でもメッセージを確認できます。

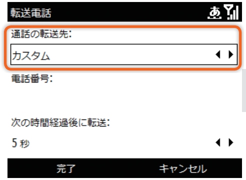
- ▶「1416」を入力▶
- を長押し

転送電話サービス

圏外時や電話に出られないとき、あらかじめ指定した電話番号へ転送します。

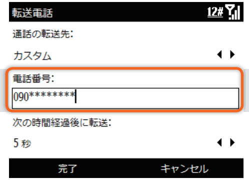
転送電話サービス開始

1



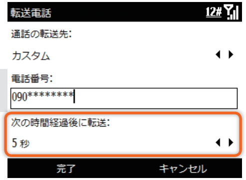
(➲P.28の操作2 ❷ で)
「通話の転送先」欄で「カスタム」を選択

2



「電話番号」欄に転送先の電話番号を入力

3



「無応答転送」を選択した場合は、「次の時間経過後に転送」を選択
▶(完了)

その他のオプションサービスについて

■ 割込通話サービス※

通話中にかかってきた電話を受けたり、他の相手へ電話をかけられます。

(スタート)▶「設定」▶「電話」▶「音声通話」▶「割り込み通話」▶「割り込み通話を通知する」にチェック▶(完了)

■ グループ通話サービス※

複数の相手と同時に通話できます。最大6人まで同時に通話できます。

通話中に電話番号を入力▶/「発信」▶つながったら通話

■ 発着信規制サービス

電話発着信を状況に合わせて制限できます。

(スタート)▶「設定」▶「電話」▶「音声通話」▶「発着信規制」▶「発信制限」欄/「着信制限」欄でそれぞれ規制の種類を選択▶(完了)▶発着信規制用暗証番号を入力▶(完了)

■ 発信者番号通知サービス

お客様の電話番号を相手に通知したり、通知しないようにします。

(スタート)▶「設定」▶「電話」▶「通話サービス」▶「発信者番号通知」▶「自分の発信者番号の通知相手」欄で「常に通知」/「非通知」/「登録済み連絡先にのみ通知」▶(完了)

※ ご利用には別途お申込が必要です。

便利なツール

「通話履歴」で累積通話時間などを確認したり、「スピードダイヤル」で登録番号などを編集できます。

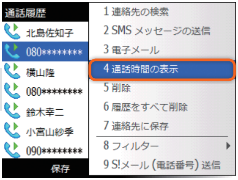
累積通話時間などを確認する

1



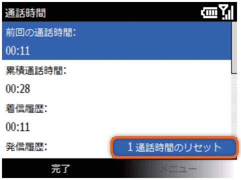
⊟(スタート)▶「アプリケーション」▶「通話履歴」を選択

2



通話履歴画面▶⊟(メニュー)▶「通話時間の表示」を選択

リセットするときは・・・



通話時間画面▶⊟(メニュー)▶「通話時間のリセット」▶⊟(はい)で、「総累積通話時間」以外をリセットできます。

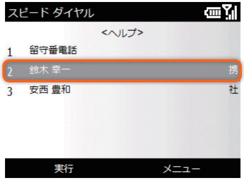
スピードダイヤルを編集する

1



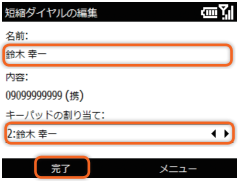
⊟(スタート)▶「アプリケーション」▶「スピードダイヤル」を選択

2



スピードダイヤルの画面▶編集する番号を選択

3



短縮ダイヤルの編集画面▶「名前」欄／「キーパッドの割り当て」欄を編集▶⊟(完了)

メール

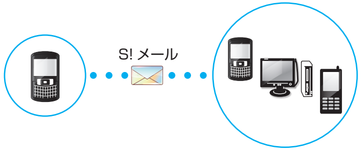
本機で使えるメール

S!メール、SMS、インターネットメールが使えます。

S!メール

携帯電話やパソコンなどメールを使える機器との間で、長い文字メッセージ、画像、サウンドなどを送受信できます。

※ S!メールのご利用には、別途お申込が必要です。



S!メール

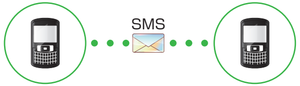
- 全角：最大15,000文字、半角：最大30,000文字まで送れる。*1
- 画像、動画、サウンドファイルなどを添付できる。
- 宛先にメールアドレスか電話番号*2を指定。
- 件名を付けられる。

*1 添付ファイルのサイズにより、送れる最大文字数が変わります（メールサイズは最大300KB）。

*2 宛先がソフトバンク携帯電話の場合

SMS

ソフトバンク携帯電話との間で、電話番号を宛先として短い文字メッセージを送受信できます。



SMS

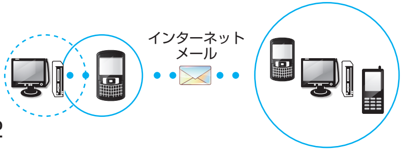
- 最大70文字まで送れる。*3
- 宛先に電話番号を指定。

*3 すべて半角英数で入力した場合は140文字まで送れます。

インターネットメール

会社や自宅のパソコンと同じメールを送受信することができます。

※ インターネットメールのご利用には、別途プロバイダとの契約、アカウントの設定が必要です。



インターネットメール

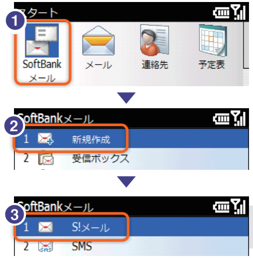
- S!メールのような文字数制限はありません。*4
- S!メールと同様に、画像、動画などを添付できる。*4

*4 ご利用になるインターネットメールによって、制限や設定が異なります。詳細は、各インターネットメールのプロバイダのホームページをご確認ください。

メールを おくる

相手のメールアドレスか電話番号を選んでメールを送れます。

1



ホーム画面▶⊟（スタート）▶「SoftBankメール」▶「新規作成」▶「S!メール」

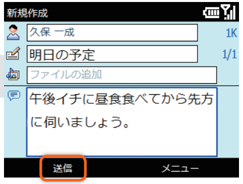
2



メールを作成（➲P.34）

- 宛先を入力
- 件名を入力
- ファイルを添付
- 本文を入力

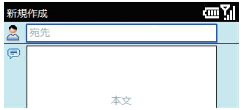
3



内容を確認して、⊟（送信）

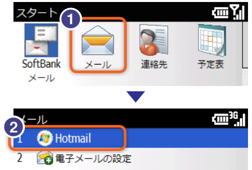
メールが送信されます。

SMSを送信するには



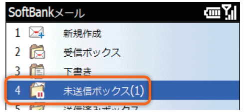
ホーム画面▶⊟（スタート）▶「SoftBankメール」▶「新規作成」▶「SMS」▶宛先と本文を入力▶⊟（送信）

インターネットメールを送信するには



ホーム画面▶⊟（スタート）▶「メール」▶アカウントを選択▶⊟（メニュー）▶「新規」▶宛先、件名、本文を入力▶⊟（送信）

未送信メールを再送信するには



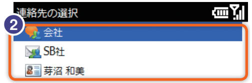
ホーム画面▶⊟（スタート）▶「SoftBankメール」▶「未送信ボックス」▶再送信するメールを選択▶⊟（送信）

※ 電波状態の良いときに再送信してください。

宛先を入力する

連絡先を使う







宛先画面
▶「連絡先」▶個人を選択
▶アドレス/電話番号を選択

メールグループを使う

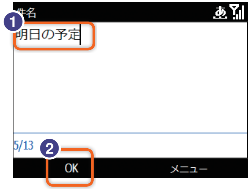
「連絡先を使う」の❷でメールグループを選択

履歴を使う



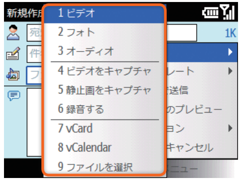
宛先画面
▶「送信履歴」/「通話履歴」
▶アドレス/電話番号を選択

件名を入力する



件名画面▶件名を入力
▶⊟(OK)

ファイルを添付する



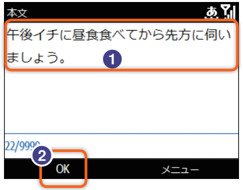
「ファイルの追加」欄を反転表示
▶⊟(メニュー)▶「追加」
▶添付したいデータを選択

宛先を直接入力する



宛先画面
▶「宛先直接入力」
▶アドレス/電話番号を入力

本文を入力する



本文画面▶メール本文を入力
▶⊟(OK)

本文を修飾する

本文画面▶⊟(メニュー)▶「文字サイズ」/「文字色」/「文字背景」をそれぞれ選択

本文に定型文を挿入にする

本文画面▶⊟(メニュー)▶「定型文」▶挿入する定型文を選択

本文を定型文として保存する

本文画面▶⊟(メニュー)▶「定型文として保存」

本文に情報を挿入にする

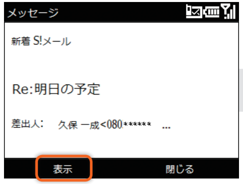
本文画面▶⊟(メニュー)▶「お気に入りを挿入」/「絵文字の挿入」/「連絡先を挿入」/「予定を挿入」をそれぞれ選択

メールをうけとる

S!メール/SMSを受信すると、通知が表示されます。
インターネットメールが自動的に受信されない場合は、手動で受信を行います。

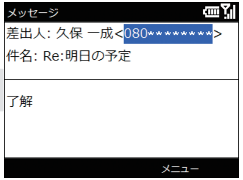
S!メール/SMSを受信する

1



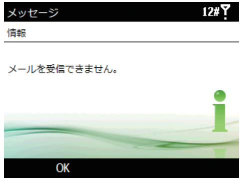
メールが届くとホーム画面に通知が表示されます。
▶⊟(表示)

2



メールの内容が表示されます。

受信できない場合



この場合はメールをうけとれません。

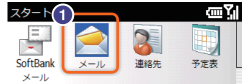
手動で再受信するには

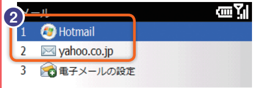
電波状態の良いときに再受信してください。

ホーム画面▶⊟(スタート)
▶「SoftBankメール」
▶「サーバーメール一覧」
▶⊟(はい)▶一覧から受信するメールを選択

インターネットメールを受信する

1





ホーム画面▶⊟(スタート)
▶「メール」▶インターネットメールのアカウントを選択
▶⊟(メニュー)▶「送受信」

S!メール/SMSに返信する

受信メールの画面▶⊟(メニュー)
▶「返信」▶返信の方法を選択
(「S!メール」/「引用付きS!メール」/「SMS」/「引用付きSMS」)
▶本文を編集(➲P.34)

大切なメールは フォルダで管理

メールボックス内をフォルダ分けして、S!メール/SMSを管理できます。
メール振り分け設定で、受信したメールを自動的にフォルダに振り分けて保存できます。

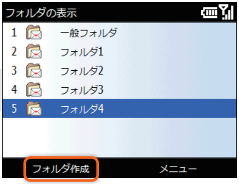
フォルダを作る

1



ホーム画面▶⊟(スタート)
▶「SoftBankメール」
▶「受信ボックス」

2



⊟(フォルダ作成)
フォルダが作成されます。

フォルダ名を変更する

ホーム画面▶⊟(スタート)▶「SoftBankメール」▶「受信ボックス」▶フォルダを反転表示▶⊟(メニュー)▶「名前の変更」▶フォルダ名を変更▶⊟(OK)

フォルダを削除する

ホーム画面▶⊟(スタート)▶「SoftBankメール」▶「受信ボックス」▶フォルダを反転表示▶⊟(メニュー)▶「削除」▶メッセージに従って入力▶⊟(はい)

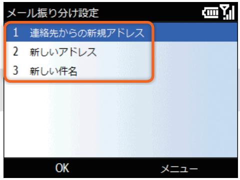
フォルダに振り分ける

1



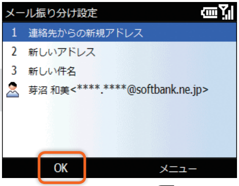
ホーム画面▶⊟(スタート)▶「SoftBankメール」▶「受信ボックス」▶フォルダを反転表示▶⊟(メニュー)▶「メール振り分け設定」

2



「連絡先からの新規アドレス」/「新しいアドレス」/「新しい件名」
▶設定の方法を選択
▶内容を登録

3



設定が完了したら、⊟(OK)

インターネット

世界が広がる

インターネット

Webブラウザ(Internet Explorer®)を使って、世界のWebサイトにアクセスし、コンテンツの閲覧や、画像／サウンドなどのダウンロードを行うことができます。

ご注意ください!

Internet Explorer使用時、**パケット通信料が高額になる**可能性があります。ご利用にあたっては、パケット定額サービスへのご加入をおすすめします。

Webブラウザ：Internet Explorer

パソコン向けのWebサイトを見るためのブラウザです。



Internet Explorer

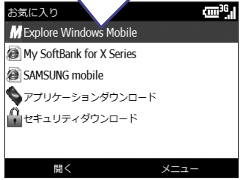
安全に通信するための仕組み(SSL/TLS)

本機のWebブラウザであるInternet Explorerは、SSL/TLSに対応しています。
SSL(Secure Socket Layer)/TLS(Transport Layer Security)は、インターネット上で情報を暗号化して安全な通信を提供する通信規約(プロトコル)です。

お気に入り

インターネットで見つけた情報を、忘れないように保存しておくことができます。
お気に入りは、Webページのアドレスを保存します。お気に入りを呼び出すと、現時点の最新Webページが表示されます。

Webページのアドレスを保存します。
お気に入りを呼び出すと、最新のWebページが表示されます。



Webサイトに

アクセスする

閲覧履歴やお気に入りからアクセスすることもできます。

ご注意ください!

パケット通信料が高額になる可能性があります。ご利用にあたっては、パケット定額サービスへのご加入をおすすめします。

情報画面の基本操作



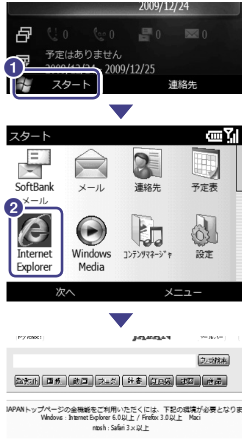
で移動

(指マーク)に変わる位置で、
を押すと、リンク先にジャンプ

メニューバーを表示する

・ / (ソフトキー)を押します。

Internet Explorerを開く



ホーム画面
▶ (スタート)
▶「Internet Explorer」
▶必要に応じて (はい)
▶トップページが表示されます。

・ キーワードを入力して、Webサイトを検索できます。

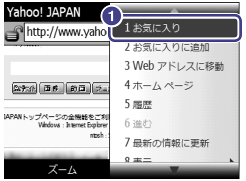
URLを入力してアクセスする



情報画面
▶ (メニュー)
▶「Webアドレスに移動」
▶URLを入力
▶ (実行)
▶選択したサイトの情報画面が表示されます。

お気に入りからアクセスする

情報画面のURLを登録して、インターネットに接続することができます。

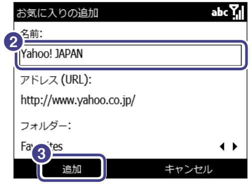




情報画面
▶ (メニュー)
▶「お気に入り」
▶閲覧したいサイトを反転表示
▶ (開く)
▶選択したサイトの情報画面が表示されます。

お気に入りを登録する





情報画面
▶ (メニュー)
▶「お気に入りに追加」
▶「名前」欄を入力
▶ (追加)

一度みたサイトにアクセスする(閲覧履歴)

閲覧したWebサイトは、閲覧履歴に登録されます。閲覧履歴では、閲覧したいWebサイトを選択し、目的の情報画面にアクセスできます。







情報画面
▶ (メニュー)
▶「履歴」
▶閲覧したいサイトを反転表示
▶ (開く)
▶選択したサイトの情報画面が表示されます。

拡大・縮小表示にする



情報画面
▶ (ズーム)
▶ でスライダーを移動

・ページによっては拡大縮小できない場合があります。
・拡大表示のとき、 で上方向/下方向/左方向/右方向にスクロールできます。スクロール中は、カーソル が表示されます。

文字サイズを変更する



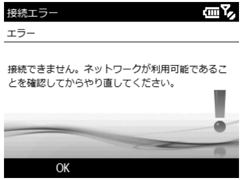
情報画面
▶ (メニュー)
▶「表示」
▶「文字サイズ」
▶「最大」/「大」/「中」/「小」/「最小」を選択

Internet Explorerを終了する



情報画面
▶ (メニュー)
▶「終了」

接続エラーのときは・・・



電波状態の良いときに再度アクセスしてください。

Windows Live™を利用する

Windows Live™は、マイクロソフト社が提供するオンラインサービスです。オンラインでチャットしたり、Windows Live™メール(Hotmail®)を利用したりすることができます。

ホーム画面▶ (スタート)▶「Windows Live」
▶画面の指示に従って、アカウントやパスワードなどを設定

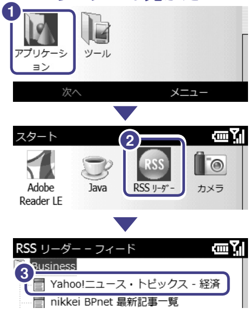
ご注意ください!

・Windows Live™のアカウントについて
Windows Live™のアカウント(ID)は、パソコンからWindows Live™のWebサイトにアクセスし、あらかじめ取得しておく必要があります。アカウントの取得方法と詳しい使い方については、Windows Live™のWebサイトでご確認ください。

RSSリーダーを利用する

RSSフィードを登録すると、そのWebサイトに接続することなく最新情報を確認できます。

RSSリーダーの見かた



ホーム画面▶ (スタート)
▶「アプリケーション」
▶「RSSリーダー」
▶フィードを一覧から選択

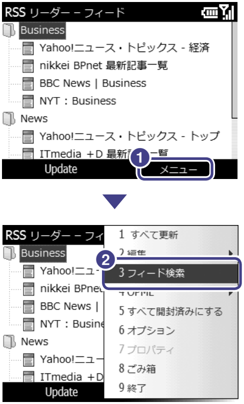
- フィードを更新する場合は、フィードを反転表示して (Update)
- 更新を中止する場合は、更新中に (キャンセル)

▶ヘッドラインを選択

- ヘッドラインを選択すると、対象の情報画面にアクセスできます。

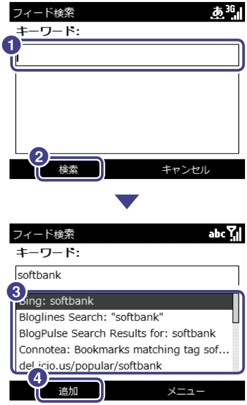
RSSフィードを登録する

1



RSSリーダー -フィード画面
▶ (メニュー)
▶「フィード検索」

2



「キーワード」欄を入力
▶ (検索)
▶追加したいフィードを一覧から反転表示▶ (追加)
▶ (OK)
▶ (メニュー)▶「完了」

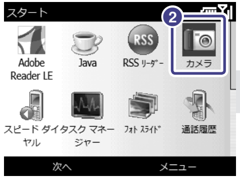
カメラ

撮る（静止画）

いろいろな設定で静止画を撮影できます。

1

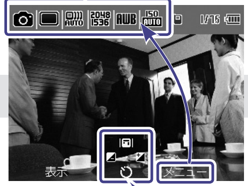




ホーム画面▶（スタート）▶「アプリケーション」▶「カメラ」または

2

◀各種モード、設定（➲P.45）



◀ズーム、ファインダー、明るさ調整、タイマーが設定可能

必要に応じて各種設定

ズームイン／ズームアウト

／ で最大2倍（10段階）まで調節できます。

ファインダーの変更

で撮影画面のファインダーを3種類から選択できます。

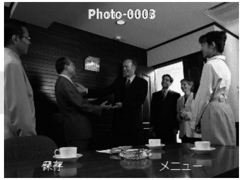
明るさの調整

で9段階の調節（+2、+1.5、+1、+0.5、0、-0.5、−1、−1.5、−2）ができます。

タイマーの設定

でタイマー（なし、2秒、5秒、10秒）を設定できます。

3



撮影したい被写体を撮影画面に表示▶ または ▶（保存）で保存されます。

撮影データの保存先

撮影した静止画は、「Photo」フォルダに保存されます。撮影画面で（表示）を選択すると、「Photo」フォルダが開きます。

メモリカードを取り付けている場合、保存先をメモリカードに変更できます。（メニュー）▶「設定」▶「セットアップ」▶「保存場所」で変更します。

カメラを終了するには

、、または を押します。

各種モードを設定する

撮影画面で（メニュー）▶ でモードを反転表示▶ で項目を反転表示▶

カメラモード

アイコン	説明	アイコン	説明
	静止画を撮影できます。		動画撮影に切り替えます。（➲P.46）

撮影モード

アイコン	説明
	通常の静止画を撮影できます。メールに添付したりホーム画面の背景にするときは、解像度を変更してください。
	9枚までの静止画を連続撮影できます。
	フレーム付きの静止画を撮影できます。フレームは49種類あります。
	モザイクを選んで撮影すると、分割して撮影したすべての静止画が1枚の静止画として配置されます。モザイクは18種類あります。
	顔を認識して、笑顔になったときに自動で撮影できます。

シーン

アイコン	説明	アイコン	説明	アイコン	説明
AUTO	自動		人物		夕暮れ
	暗所モード		文字列		夜明け
	風景		スポーツ		

解像度（撮影サイズ）

アイコン	説明	アイコン	説明
2048 1536	2048×1536（3M）※	640 480	640×480（0.3M）
1600 1200	1600×1200（2M）※	320 240	320×240（0.07M）
1280 960	1280×960（1.3M）※		

※「一枚撮影」／「スマイル撮影」時のみ選べます。

ホワイトバランス

アイコン	説明	アイコン	説明	アイコン	説明
AWB	自動		曇り		蛍光灯
	日光		電球		

ISO

アイコン	説明	アイコン	説明
ISO AUTO	自動	ISO 100 ISO 200 ISO 400	100、200、400から選択

計測

アイコン	説明	アイコン	説明
	平均		スポット

効果

アイコン	説明	アイコン	説明
	効果なし	S	セピア
B/W	モノクロ	N	ネガ

その他設定

（メニュー）▶「設定」で「イメージ品質」、「シャッターサウンド」、「レビュー画面」、「ズーム調整サウンド」、「明るさ調整サウンド」を設定できます。

撮る(動画)

カメラ機能では、静止画のほかに動画も撮影できます。

1



▼

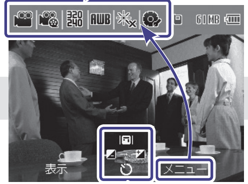


ホーム画面▶(スタート)
▶「アプリケーション」
▶「カメラ」▶(メニュー)
▶「ビデオカメラ」

または ▶(メニュー)
▶「ビデオカメラ」

2

◀各種モード、設定 (➲P.47)



◀ズーム、ファインダー、明るさ調整、タイマーが設定可能

必要に応じて各種設定

ズームイン/ズームアウト

／ で最大2倍(10段階)まで調節できます。

ファインダーの変更

で撮影画面のファインダーを3種類から選択できます。

明るさの調整

で9段階の調節(+2、+1.5、+1、+0.5、0、-0.5、−1、−1.5、−2)ができます。

タイマーの設定

でタイマー(なし、2秒、5秒、10秒)を設定できます。

3



撮影したい被写体を撮影画面に表示▶ または ▶
動画の撮影が開始されます。

撮影データの保存先

撮影した動画は、「My Videos」フォルダに保存されます。撮影画面で (表示)を選択すると「My Videos」フォルダが開きます。

メモリカードを取り付けている場合、保存先をメモリカードに変更できます。 (メニュー)▶「設定」▶「セットアップ」▶「保存場所」で変更します。

カメラを終了するには

、 、または を押します。

4

一時停止



を押します。一時停止中に を押すと、録画がキャンセルされます。

再開



を押します。

終了



を押します。

▼



で再生します。
(保存)で保存されます。

その他設定

(メニュー)▶「設定」で「ビデオ品質」、「録画開始サウンド」、「エンコード方式」、「レビュー画面」、「ズーム調整サウンド」、「明るさ調整サウンド」を設定できます。

各種モードを設定する

撮影画面で (メニュー)▶ でモードを反転表示▶ で項目を反転表示▶

カメラモード

アイコン	説明
(動画)	動画を撮影できます。
(静止画)	静止画撮影に切り替えます。(➲P.44)

録画モード

アイコン	説明
(メール)	S!メールに添付するときの容量制限に収まるサイズで撮影されます。
(標準)	標準サイズ(QVGAサイズ)で撮影できます。

解像度(撮影サイズ)

アイコン	説明	アイコン	説明
320 240	320×240※	176 144	176×144

※ 「標準」時のみ選べます。

ホワイトバランス

アイコン	説明	アイコン	説明	アイコン	説明
AWB	自動	(曇り)	曇り	(蛍光灯)	蛍光灯
(日光)	日光	(電球)	電球		

効果

アイコン	説明	アイコン	説明
(効果なし)	効果なし	S	セピア
B/W	モノクロ	N	ネガ

静止画加工

撮影した静止画の明るさやサイズを変更したり、効果をかけたりできます。

1



撮影画面で (表示)
▶撮影した静止画を反転表示
▶ (メニュー)▶「編集」
▶「エディタで開く」

2

▶ (メニュー)▶編集内容を以下から選択

顔を検出して切り取るとき	「顔検出」▶候補が複数ある場合は、で対象を選択▶ (次へ)▶で範囲を拡大／縮小▶ (移動)▶で範囲を移動▶ (完了)
回転するとき	「回転」▶で回転▶ (完了)
明るさを調整するとき	「明るさ／コントラスト」▶で調整▶ (完了)
コントラストを調整するとき	「明るさ／コントラスト」▶で調整▶ (完了)
効果をかけるとき	「効果」▶で効果を選択▶ (完了)
ぼかすとき	「ぼかし／シャープ」▶で調整▶ (完了)
シャープにするとき	「ぼかし／シャープ」▶で調整▶ (完了)
サイズを変更するとき	「サイズ変更」▶サイズを選択▶ (完了)
一部を切り取るとき	「トリミング」▶でトリミングする比率を選択▶ (次へ)▶で範囲を拡大／縮小▶ (移動)▶で範囲を移動▶ (完了)
上下左右に反転するとき	「反転」▶で反転▶ (完了)

顔検出



効果



グレースケール、ネガ、古い写真、スペックル除去、赤色のフィルター、緑色のフィルター、青色のフィルター、ソラリゼーション、ポスタリゼーション、ノイズの追加、白黒ネガ、スポットライト、ムーンライト、フォグ、アンティーク、グロー、蛍光灯、炎、暖色、寒色、フォーカルグレイ　から選択

トリミング



ツール

予定表

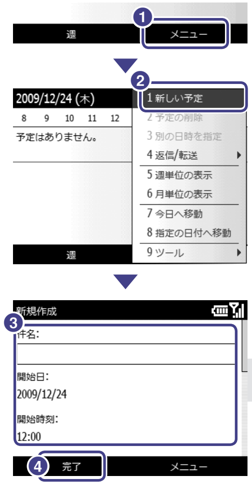
予定を登録すると、他の予定との重なりが警告表示されたり、事前にアラームでお知らせします。
会議などの出席者を連絡先から指定すると、予定をメールで通知することもできます。

予定表を開く



ホーム画面
▶ (スタート)
▶「予定表」

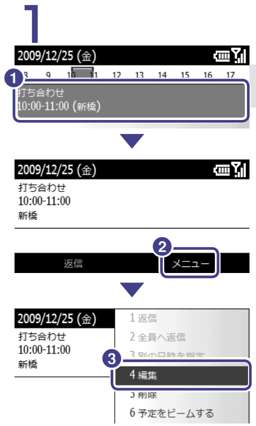
予定を登録する



ホーム画面
▶ (スタート)
▶「予定表」
▶ (メニュー)
▶「新しい予定」
▶項目を入力
▶ (完了)

項目	説明
件名	予定の見出しを入力。
開始日	予定の開始日を設定。
開始時刻	予定の開始時刻を設定。
終了日	予定の終了日を設定。
終了時刻	予定の終了時刻を設定。
終日イベント	終日の予定の場合にチェックマークを付けます。
場所	場所を入力します。
出席者	メールで予定を通知したい場合に、連絡先から相手を指定します。
アラーム	なし／1分／5分／10分／15分／30分／1時間／1日／1週間のいずれかを設定。
パターン	定期的な予定(毎週／毎月／毎年)として設定できます。
公開方法	予定あり／外出中／空き時間／仮の予定のいずれかを設定。
秘密度	標準／個人／プライベート／社外秘のいずれかを設定。
メモ	補足や参考情報など、メモを入力できます。

予定を変更する



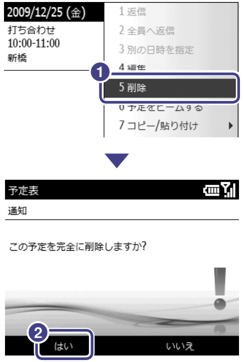
ホーム画面▶ (スタート)
▶「予定表」▶(予定が複数ある場合は で反転表示)▶
▶ (メニュー)▶「編集」



項目の説明 (➔P.50)

項目を変更
▶ (完了)

予定を削除する



ホーム画面▶ (スタート)
▶「予定表」▶(予定が複数ある場合は で反転表示)▶
▶ (メニュー)▶「削除」
▶ (はい)

予定を確認するには･･･



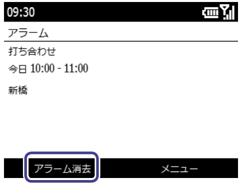
(週)▶ (月)▶ (予定一覧)で表示を切り替えられます。

予定が重なると･･･



アイコンで警告

設定した日時になると･･･



(アラーム消去)

・アラームを設定している場合のみ

仕事

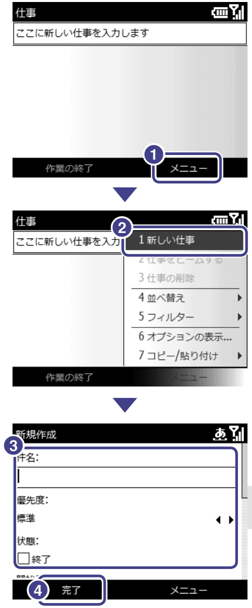
日々の業務だけでなく、プライベートの用事も登録して、管理できます。指定の日時にアラームでお知らせします。

仕事を開く



ホーム画面
▶ ⊟（スタート）
▶「ツール」
▶「仕事」

仕事を登録する



仕事の画面
▶ ⊟（メニュー）
▶「新しい仕事」▶項目を入力
▶ ⊟（完了）

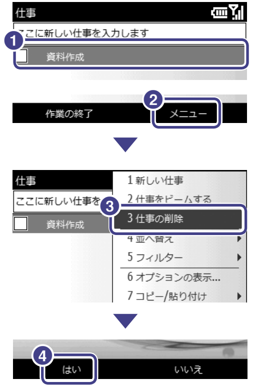
項目	説明
件名	仕事の見出しを入力。
優先度	標準／低／高
状態（□終了）	終了した場合に、チェックマークを付けます。
開始日	仕事の開始日を設定。
期限	仕事の期限を設定。
パターン	定期的な仕事（毎週／毎月／毎年）として設定できます。
アラーム	アラームを通知する場合にチェックマークを付けて、日付と時刻を設定します。
分類項目	仕事の分類を設定すると、「フィルター」のメニューで該当項目を指定して、一覧表示を絞り込むことができます。
秘密度	標準／個人／プライベート／社外秘のいずれかを設定。
メモ	補足や参考情報など、メモを入力できます。

仕事を変更する



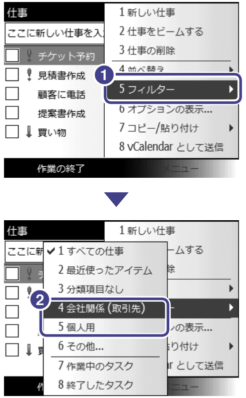
仕事の画面
▶（仕事が複数ある場合は ◙ で反転表示）▶ ◙ ▶ ⊟（編集）
▶項目を変更 ▶ ⊟（完了）

仕事を削除する



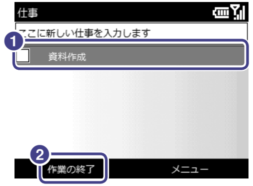
仕事の画面
▶仕事が複数ある場合は ◙ で反転表示
▶ ⊟（メニュー）
▶「仕事の削除」▶ ⊟（はい）

表示を絞り込む（フィルター）



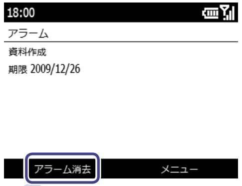
仕事の画面
▶ ⊟（メニュー）▶「フィルター」
・ 使用されている分類項目だけが表示されます。
▶分類項目を選択

仕事が終了したら・・・



仕事の画面で対象を反転表示
▶ ⊟（作業の終了）

設定した日時になったら・・・



▶ ⊟（アラーム消去）
・ アラームを設定している場合のみ

画面の見方（優先度）

表示	設定内容
!	高
（なし）	標準
↓	低

オフィスアプリ

パソコンで作成したPowerPoint®のファイルを閲覧したり、WordやExcel®のファイルを編集できます。また、OneNote®を使って、画像や音声を取り込むこともできます。

Office Mobileのアプリケーションを起動する（例：Excel）

1

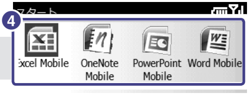


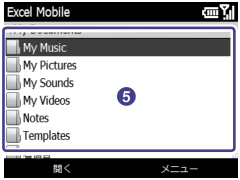




ホーム画面▶（スタート）
▶「アプリケーション」
▶「Office Mobile」

2







Office Mobileの画面
▶起動するアプリケーションを選択
▶ファイルを保存したフォルダに移動して、開くファイルを選択

ご注意

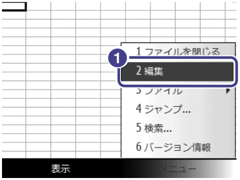
パソコンで作成したファイルをOffice Mobileで編集して保存すると、サポートされていない内容や書式が失われる可能性があります。

メモリカードのファイルを開く



Excel Mobileの画面
▶（メニュー）▶「メモリカード」

ファイルを編集する



ファイルを開いた画面
▶（メニュー）▶「編集」

メニューバーを表示する

・ / （ソフトキー）を押します。

その他の機能

プログラムの追加／削除

パソコンやインターネット上から、本機にモバイル用のプログラムを追加したり、追加したプログラムを削除したりすることができます。

パソコンと接続して追加する

本機とパソコンを接続
▶同期に関する設定を行う
▶画面の指示に従って、セットアップを行う
▶同期の設定の完了メッセージが表示されたら「完了」をクリック

▶追加したいアプリケーションをパソコン側にインストールする
▶ActiveSync®の「ツール」メニューから「アプリケーションの追加と削除」を選択
▶追加対象のアプリケーションが一覧に表示されていることを確認し、選択
▶「OK」
▶「同期」をクリック

インターネットから追加する（Marketplace）

Marketplaceは、Windows Mobile® 6.5から標準機能となる、Windows Mobile®向けのアプリケーション配信サービスです。CD-ROMなどを介さずに、Windows Mobile®端末から直接ネットワークを経由してアプリケーションを検索／ダウンロードできます。



・初回のみ、更新プログラムがダウンロード、インストールされるので、画面の指示に従ってください。

プログラムを削除する



ホーム画面▶（スタート）
▶「設定」▶「次へ...」▶「プログラムの削除」▶一覧から対象のプログラムを反転表示
▶（メニュー）▶「削除」
▶（はい）

パソコンとのデータの同期

ActiveSync®やWindows Mobile®デバイスセンターを使用して、本機とパソコンとの間でメールや連絡先などのデータを同期させたり、ファイルをコピーしたりすることができます。

ActiveSync®とWindows Mobile®デバイスセンターについて

Windows Vista®以降のOSではWindows Mobile®デバイスセンター、Windows® XPなどではActiveSync®を使用します。

・詳しくは、マイクロソフト社のWebサイトを参照してください。

同期できる情報

Outlook®との同期
・メール
・連絡先
・予定表
・仕事
お気に入りの同期
・Internet Explorer®のお気に入り

ファイルの同期
・パソコン側に設定された専用のフォルダの内容
Windows Media® Playerのファイルの同期
・音楽（著作権情報含む）／動画（著作権情報含む）／静止画

パソコンの動作環境

ActiveSync®の場合

オペレーティングシステム
・Windows® XP Service Pack 2 など
Outlook®との同期
・Microsoft® Outlook® 2003（推奨）
・Microsoft® Outlook® XP
・Microsoft® Outlook® 2007
お気に入りの同期
・Internet Explorer® 6.0以上
パソコンとの接続／通信方法
・USBケーブル
・Bluetooth®

Windows Mobile®デバイスセンターの場合

オペレーティングシステム
・Windows Vista® Home Basic以降
Outlook®との同期
・Microsoft® Outlook® 2003
・Microsoft® Outlook® XP
・Microsoft® Outlook® 2007（推奨）
お気に入りの同期
・Internet Explorer® 7
パソコンとの接続／通信方法
・USBケーブル
・Bluetooth®

パソコンとの同期に関する注意事項

・Outlook Expressとは同期できません。
・Outlook®はあらかじめパソコン上で起動し、メールや連絡先、予定表などが使用できる状態であることを確認してください。
・Windows Media® Playerのファイルは、パソコン側がWindows Media® Player 10より前（ActiveSync®の場合）／11より前（Windows Mobile®デバイスセンターの場合）のバージョンでは同期できません。
・ActiveSync®では、Windows Media® Playerのファイルサイズが数百Mバイト以上ある場合、同期を2回実行することがあります。
・ActiveSync®で同期中または同期完了後に、タスクマネージャでActiveSync®を終了すると、本機の動作が不安定になる場合があります。
・パソコンがExchange Serverに接続されているときや、本機とExchange Serverとを直接同期するときは、ActiveSync®／Windows Mobile®デバイスセンターのインストールや使用について社内システム管理者にご確認ください。

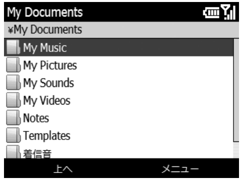
ファイルやフォルダを管理

データフォルダには、画像、動画、サウンド、Flash®などいろいろなデータファイルを保存できます。種別フォルダ内にサブフォルダを作成できます。

ファイルやフォルダの管理には、「エクスプローラー」と「コンテンツマネージャー」を使う方法があります。ここでは主に、「エクスプローラー」での操作を説明します。

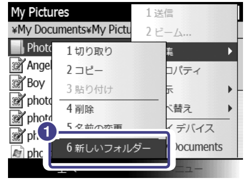
エクスプローラーを起動する





ホーム画面▶⊟（スタート）
▶「エクスプローラー」

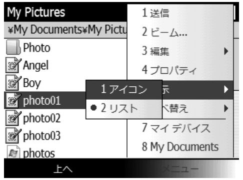
フォルダを作成する





エクスプローラーの画面
▶⊟（メニュー）▶「編集」
▶「新しいフォルダー」
▶フォルダ名を入力

表示方法を切り替える（アイコン／リスト）



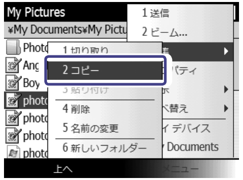
エクスプローラーの画面
▶⊟（メニュー）▶「表示」
▶「アイコン」／「リスト」を選択

ファイル／フォルダを並び替える



エクスプローラーの画面
▶⊟（メニュー）▶「並べ替え」
▶「名前」／「日付」／「サイズ」／「種類」を選択

コピーする





エクスプローラーの画面
▶対象ファイル／フォルダを反転表示
▶⊟（メニュー）▶「編集」▶「コピー」
▶コピー先のフォルダを開く
▶⊟（メニュー）▶「編集」▶「貼り付け」

移動する





エクスプローラーの画面
▶対象ファイル／フォルダを反転表示
▶⊟（メニュー）▶「編集」▶「切り取り」
▶移動先のフォルダを開く
▶⊟（メニュー）▶「編集」▶「貼り付け」

削除する





エクスプローラーの画面
▶対象ファイル／フォルダを反転表示
▶⊟（メニュー）▶「編集」▶「削除」▶⊟（はい）

コンテンツマネージャ

登録した特定のフォルダの一覧が表示されます。任意のフォルダを追加することで、フォルダへのアクセスが容易に行えます。

1



ホーム画面▶⊟（スタート）
▶「コンテンツマネージャ」

2



コンテンツマネージャの画面
▶⊟（メニュー）▶「追加」▶追加したいフォルダを反転表示▶⊟（選択）

メモリカードを使う

本機はmicroSD™ ／ microSDHC™メモリカードに対応しています。
市販のmicroSD™ ／ microSDHC™メモリカードを使って、データを保存することができます。

メモリカードのご利用に関する注意

- 無理に取り付けたり取り外したりすると、メモリカードや本機が破損することがあります。
- 推奨のメモリカードをご利用ください。
- 取り外したメモリカードは、紛失しないでください。
- 端子部分に触れたり、傷つけたりしないでください。
- データの読み込み中や書き込み中は絶対にメモリカードを取り外さないでください。メモリカードや本機が破損することがあります。
- メモリカードの登録内容は事故や故障により消失・変化する恐れがあります。大切なデータは控えをとっておくことをおすすめします。なお、データが消失・変化した場合の損害について当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

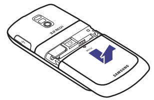
推奨メモリカードサイズ

64Mバイト	1Gバイト
128Mバイト	2Gバイト
256Mバイト	4Gバイト＊
512Mバイト	8Gバイト＊
	16Gバイト＊

＊microSDHC™メモリカードのみ推奨。

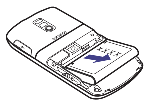
メモリカードを取り付ける

1



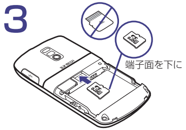
電池カバーを矢印の方向に押しながらスライドさせ、取り外す

2



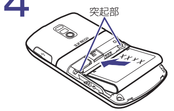
電池パックを持ち上げて、取り外す

3



メモリカードの端子部分を下にしてメモリカードスロットに差し込む

4



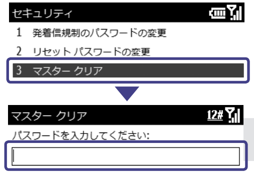
本機の突起部に電池パックのくぼみを合わせて取り付ける
▶電池カバーを取り付ける

メモリカードを初期化する

メモリカード初期化に関する注意事項

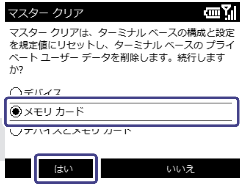
- メモリカードを初期化すると、メモリカード内のデータが削除されます。
- 購入されたメモリカードを本機で使用する前には、必ず本操作を行ってください。

1



(スタート)▶「設定」▶「次へ...」▶「セキュリティ」▶「次へ...」▶「マスタークリア」▶操作用暗証番号を入力▶ (完了)

2



マスタークリアの画面
▶「メモリカード」▶ (はい)

Bluetooth®機能を使う

Bluetooth®機能を使うと、ケーブルで接続しなくても、Bluetooth®対応の携帯電話やBluetooth®対応機器と無線で接続し、データの送受信ができます。また、ハンズフリー機器と接続すれば、本機を手もとで操作することなく通話したり音楽を聴いたりすることができます。

Bluetooth®のご利用に関する注意

- 本機はすべてのBluetooth®機器との無線接続を保証するものではありません。
- 相手機器がBluetooth®標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できなかったり、操作方法や表示、動作などが異なったり、データの送受信ができなかったりすることがあります。
- Bluetooth®対応機器が使用する電波帯（2.4GHz）は、いろいろな機器が共有して使用する電波帯です。このため、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下したり、通信が切断されることがあります。
- ワイヤレス通話やハンズフリー通話をするときに、接続機器や通信環境により、雑音が入ることがあります。

Bluetooth®の準備

受信側と送信側の機器を1m以内に近づけます。間に物を置かないでください。

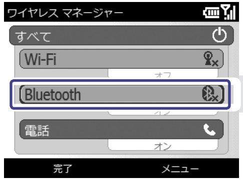
主な仕様

項目	仕様
通信方式	Bluetooth®標準規格 Ver.2.0+EDR
対応プロファイル	Headset Profile Hands-Free Profile Serial Port Profile Object Push Profile Advanced Audio Distribute Profile Audio/Video Remote Control Profile Basic Printing Profile Protocol Generic Object Exchange Profile Personal Area Network Profile Phone Book Access Profile Human Interface Device Profile
出力	Bluetooth® Power Class2
見通し通信距離[1]	約10 m以内
使用周波数帯	2.4 GHz
Bluetooth® QD ID	B014543

1 相手機器との間の障害物や電波状況などによって変化します。

Bluetooth®機能をオンにして検出可能にする

1



▶「ワイヤレスマネージャー」
▶「Bluetooth」

・「オン」に設定すると、ディスプレイ最上段に が表示され、Bluetooth®対応機器と接続できるようになります。

2



(メニュー)
▶「Bluetoothの設定」

3



▶(メニュー)
▶「検出可能にする」
▶(完了)

ペアリングとは

Bluetooth®対応機器どうしの無線接続の設定をすることです。一度設定すると、これらの機器は次回から自動的に接続されるようになります。

・ペアリングするためには、同じパスコードを双方のBluetooth®対応機器で入力する必要があります。

パソコンとのペアリング

■パソコン側の設定

使用するパソコン上で、「スタート」
▶「コントロールパネル」
▶「Bluetoothデバイス」の順に開く
▶画面の指示に従って、設定を行う

■本機側の設定

パソコンからペアリングのリクエストを受信▶(はい)
▶パソコンの画面に表示されているパスコードを本機に入力
▶(次へ)▶接続の完了▶(詳細設定)▶(次へ)
▶パソコンから提供されるサービスの中から、利用するサービスにチェックを付ける▶(完了)

ハンズフリーヘッドセットとのペアリング

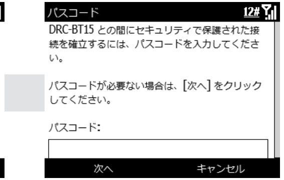
あらかじめハンズフリーヘッドセットの電源を入れ、ペアリングするモードに切り替えておきます。詳細は、ハンズフリーヘッドセットの取扱説明書を参照してください。

1



▶「ワイヤレスマネージャー」
▶(メニュー)
▶「Bluetoothの設定」
▶「新しいデバイスの追加」
▶接続するハンズフリーヘッドセットを反転表示
▶(次へ)

2



固有のパスコードを入力

・固有のパスコードについてはハンズフリーヘッドセットの取扱説明書を参照してください。

▶(次へ)▶(完了)

データを1件ずつ送信する

エクスプローラなどで送信するデータを反転表示
▶(メニュー)▶「ビーム」
▶送信先のデバイスの名称を反転表示
▶(ビーム)

データを1件ずつ受信する

データの受信が始まると、受信中の確認メッセージが表示されます。
データの受信が完了すると、保存の確認メッセージが表示されるので、(はい)

Bluetooth®対応機器を検索して登録する

接続したいBluetooth®対応機器を登録済みデバイスリストに登録します。登録時には、本機と相手機器とで同じ認証コードを入力する必要があります。あらかじめ、相手機器のBluetooth®機能を有効にしてから操作してください。

▶「ワイヤレスマネージャー」▶(メニュー)▶「Bluetoothの設定」▶検索に応答したデバイスが表示されたら、登録する機器を選択
▶認証コード(1 ～ 16桁)を入力▶(次へ)
▶相手機器側で30秒以内に同じ認証コードを入力

・相手機器と接続が完了し、相手機器のデータを参照したり取得したりできる状態になります。

セキュリティをかける

暗証番号やパスワードを設定すると、本機をロックして不正な利用を禁止したり、本機内の情報を守ることができます。
本機を安全にお使いいただくため、これらの機能をご利用になることをおすすめします。

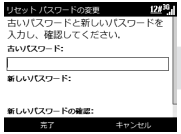
本機のロック／セキュリティ機能

機能名	内容	On ／ Offの設定方法	ロック解除方法
デバイスロック	設定した時間経過したときや、電源キーを長押しするか、ディスプレイ消灯時に、デバイスロック解除用パスワードの入力が必要になり、本機の操作を禁止／制限できます。	(スタート)▶「設定」▶「次へ...」▶「セキュリティ」▶「デバイスのロック」	デバイスロック解除用パスワードを入力
USIM照合	本機に他のUSIMカードが取り付けられたとき、USIMパスワードを入力しないと使用できないように設定できます。	(スタート)▶「設定」▶「次へ...」▶「セキュリティ」▶「SIMのロックを有効にする」	USIMパスワードを入力
PIN認証	電源を入れたときPINコード入力が必要になります。PINコードはUSIMカードの暗証番号です。	(スタート)▶「設定」▶「次へ...」▶「セキュリティ」▶「SIMカード暗証番号(PIN)を有効にする」	PINコードを入力
暗証番号(PINコード)の変更	暗証番号(PINコード)を変更できます。	(スタート)▶「設定」▶「次へ...」▶「セキュリティ」▶「暗証番号(PIN)2を変更する」	
証明書	本機に保存されている個人証明書、中間証明書、ルート証明書の内容を確認できます。	(スタート)▶「設定」▶「次へ...」▶「セキュリティ」▶「証明書」	
暗号化	ファイルをメモリカードに保存する際、ファイルを暗号化するように設定します。	(スタート)▶「設定」▶「次へ...」▶「セキュリティ」▶「暗号化」	
マスタークリア	データフォルダ、メール、本機の電話帳、予定表などの登録内容を消去できます。すべてまとめて消去することもできます。	(スタート)▶「設定」▶「次へ...」▶「セキュリティ」▶「次へ...」▶「マスター クリア」	
操作用暗証番号の変更	操作用暗証番号を変更できます。お買い上げ時は、「0000」に設定されています。	(スタート)▶「設定」▶「次へ...」▶「セキュリティ」▶「次へ...」▶「リセット パスワードの変更」	
Mobile Tracker	本機が他のUSIM で使用された場合に、登録したソフトバンク携帯電話にSMS が送信されます。	(スタート)▶「設定」▶「次へ...」▶「セキュリティ」▶「次へ...」▶「Mobile Tracker」	

操作用暗証番号を変更する

お買い上げ時は「0000」に設定されています。

1



(スタート)▶「設定」▶「次へ...」▶「セキュリティ」▶「次へ...」▶「リセット パスワードの変更」

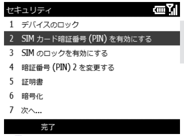
2

現在の操作用暗証番号を入力
▼
新しい操作用暗証番号(4桁)を入力
▼
再度、新しい操作用暗証番号を入力
▼
(完了)

PIN認証を設定する

PINコードは、USIMカードの暗証番号です。「PINコード」と「PIN2コード」の2つの暗証番号があります。
PIN認証に3回続けて間違えると、PINロック状態になります。解除には、PINロック解除コード(PUKコード)が必要です。
お問い合わせ先(➲P.110)までご連絡ください。

1



(スタート)▶「設定」▶「次へ...」▶「セキュリティ」▶「SIMカード暗証番号(PIN)を有効にする」

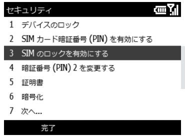
2

PINコードを入力▶(完了)

USIM照合を設定する

USIMパスワードとは、USIMカードの認証に使用する専用のパスワードです。
USIMパスワードが一致すれば、他のUSIMカードでも本機を使用できます。

1



(スタート)▶「設定」▶「次へ...」▶「セキュリティ」▶「SIMのロックを有効にする」

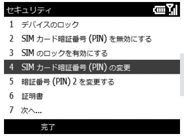
2

USIMパスワード(4～8桁の任意の番号)を入力▶(完了)▶再入力▶(完了)

PINコードを変更する

PINコード／ PIN2コードを変更する場合には、「PIN 認証」を設定(有効に)します。

1



(スタート)▶「設定」▶「次へ...」▶「セキュリティ」▶「SIMカード暗証番号(PIN)の変更」

- メニュー項目は、「PIN認証」を設定している場合に表示されます。

2

現在のPINコードを入力
▼
新しいPINコードを入力
▼
再度、新しいPINコードを入力
▼
(完了)

海外で利用する（世界対応ケータイ）

世界対応だから、使い慣れたいつものケータイが海外でも便利に使えます。
世界対応ケータイを利用すると、日本国内と同じ電話番号、メールアドレスでカンタンに海外で利用することができます。

世界対応ケータイのご利用に関する注意	● 海外でのご利用の詳細については、別冊の『世界対応ケータイサービスガイド』、またはソフトバンクモバイルホームページ(http://www.softbank.jp)を参照してください。また、海外にお出かけになる際には、『世界対応ケータイサービスガイド』を携行してください。 ● メールの受信設定が自動受信になっていると、メール通信料が高額になる場合があります。手動受信に変更するには、⊟（スタート）▶「SoftBankメール」▶「設定」▶「S!メールの設定」で「送受信モード」欄を「手動」に設定してください。

ネットワークモードを設定する

通常は「自動」にすることをおすすめします。

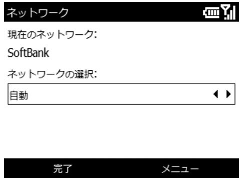


ホーム画面▶⊟（スタート）
▶「設定」▶「電話」
▶「通話サービス」
▶「帯域の選択」
▶「帯域の選択」で、「自動」/「GSM900/1800」/「GSM1900」/「WCDMA」から選択

ネットワーク（事業者）を設定する

通常は「自動」にすることをおすすめします。

1



ホーム画面▶⊟（スタート）
▶「設定」▶「電話」
▶「通話サービス」
▶「ネットワーク」
▶「ネットワークの選択」で、「自動」/「手動」から選択

2

■「手動」の場合

ネットワーク画面▶⊟（メニュー）▶「ネットワークの検索」▶事業者が検索される▶利用する事業者を選択

■「自動」の場合



ネットワーク画面▶⊟（メニュー）▶「優先するネットワーク」▶ご利用の事業者がリストの上位にくるように「上へ移動」/「下へ移動」▶⊟（完了）

海外で電話をかける



▶+（国際コード）、国番号、電話番号を全桁（先頭の0を除いた市外局番を含む）入力
▶電話番号を確認
▶

海外での緊急通報	無線ネットワークや無線信号、本機の機能設定状態、USIMの状態によって動作が異なる為、全ての国やエリアでの接続を保証できるものではありません。

・ 国番号などを直接入力して電話をかけることもできます。を押すか、を長押しして、「+」を入力します。続けて国番号、先頭の「0」を除いた電話番号の順に入力して、を押します。
イタリアに電話をかける場合、先頭に「0」があるときは除かずにそのまま電話番号を入力します。

世界時計を利用する

■ 世界時計を見る



ホーム画面▶⊟（スタート）
▶「ツール」
▶「世界時計」

■ 登録地域を変更する

1



世界時計の画面
▶で変更する時計を反転表示▶⊟（登録）

2



で目的の地域を選択
▶⊟（決定）

まだまだたくさん便利な機能

本機には、まだまだたくさんの便利なツールが搭載されています。(スタート)▶「ツール」から起動します。

D-ディ

誕生日や記念日などの予定を登録します。登録した予定は、一覧で確認できます。また、誕生日や記念日などの分類で表示を絞り込んだり、並べ替えたりすることができます。

アラーム

「目覚ましアラーム」と「アラーム」があります。時刻などを登録しておけば、オン／オフに切り替えるだけで設定や解除ができます。1回限りの起動だけでなく、毎日起動したり、週末を除いて起動する登録もできます。

ストップウォッチ

計測は、(開始)でスタート、(停止)で停止します。計測中に(記録)を押すと、ラップタイムを99回まで記録できます。

チップ(チップ計算電卓)

「請求金額」に基づき、指定した任意の比率や、分割値(人数で分割した場合の一人あたりの金額)などを計算できます。

ボイスメモ

録音は 、(録音)でスタート、(停止)で停止します。再生は、ファイルを反転表示し、(メニュー)から「再生」を選択します。また、録音したボイスメモを着信音に登録できます。

検索

「分類項目」から検索対象(連絡先、予定、仕事、S!メール、電子メール、通話、ファイル名、またはすべてのアイテム)を指定し、任意の文字列で検索できます。

単位換算

「通貨」/「長さ」/「重さ」/「体積」/「面積」/「温度」の換算ができます。「単位」欄で単位を選択し数値入力欄に入力します。通貨は(メニュー)から「対象レート」を選択し、レートを設定できます。

電卓

数字と演算子を入力して計算します。

検索ウィジェット

Web検索を行います。

ホーム画面▶(スタート)▶「検索ウィジェット」を選択▶検索語を入力▶(検索)

Adobe® Reader® LE

PDFファイルを閲覧できます。

ホーム画面▶(スタート)▶「アプリケーション」▶「Adobe Reader LE」を選択▶開くファイルを選択

付録

USIMカード

USIMカードは電話番号やお客様情報が入ったICカードです。USIMカード対応のソフトバンク携帯電話に取り付けて使用します。本機をご利用になるには、USIMカードが必要です。

ご利用になる前に

次の点にご注意ください。

・ USIMカードの取り付けや取り外しをするときには、必要以上に力を入れないでください。
・ IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
・ USIMカードにラベルなどを貼り付けないでください。
・ USIMカードの暗証番号（PINコード）やパスワードを使うと、ケータイの不正利用を禁止できます（➔P.64）。

・ USIMカードの所有権は当社に帰属します。
・ 紛失、破損などによるUSIMカードの再発行は有償となります。
・ 解約、休止などの際は、USIMカードを当社にご返却ください。
・ お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされています。
・ USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。
・ 国内外を問わず、USIMカードならびにソフトバンク携帯電話（USIMカード挿入済み）の盗難・紛失の際は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。
緊急利用停止の手続きについては、お問い合わせ先（➔P.110）までご連絡ください。

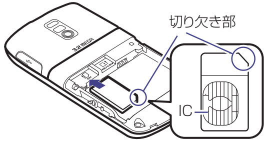
USIMカードを取り付ける／取り外す

1 電池パックを取り外す（➔P.71）

2 取り付ける／取り外す

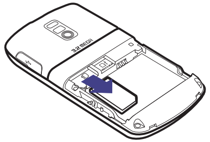
■ 取り付けるとき

金色のIC部分を下側にして、挿入口に差し込み、固定されるように、奥まで押し込みます。
切り欠き部の向きに注意してください。



■ 取り外すとき

USIMカードに指を押し当て、スライドさせながら静かに引き抜きます。



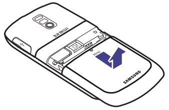
電池パック

初めてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときには、ご使用前に必ず充電してください。

電池パックを取り付ける

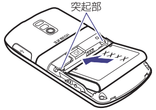
1 電池カバーを取り外す

電池カバーを押しながらスライドさせて、引き上げます。



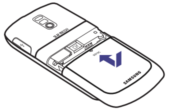
2 電池パックを取り付ける

突起部に電池パックのくぼみを合わせて取り付けます。



3 電池カバーを取り付ける

電池カバーを本体にかぶせて、スライドさせます。

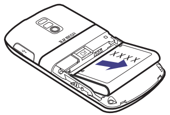


電池パックを取り外す

電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。また、急速充電器を接続していない状態で行ってください。

1 電池パックを取り外す

くぼみに指をかけて、引き上げます。



・ 電池カバーが外れた状態で使用すると、電池パックが抜ける恐れがあります。使用するときには、電池カバーを正しく取り付けてください。
・ 強い衝撃などを与えると、電池カバーが曲がって取り付けにくくなることがあります。

不要になった電池パックは

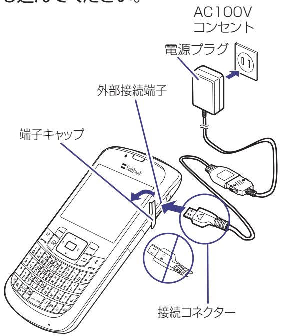
不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てずに、端子にテープなどを貼り付けて絶縁し、個別回収に出すか最寄りのソフトバンクショップへお持ちください。電池を分別廃棄している市町村の場合は、その条例に基づいて廃棄してください。
リチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。

電池パックを充電する

初めてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときには、ご使用前に必ず充電してください。

1 コネクタを取り付ける
急速充電器に変換ケーブルを取り付けてから、端子キャップを開いて、接続コネクターを差し込みます。

2 充電する
電源プラグをコンセントに差し込みます。
・接続コネクターの刻印面を上側にして差し込んでください。



3 コネクタを取り外す
充電が終わったら、接続コネクターを抜いて端子キャップを閉め、電源プラグをコンセントから抜きます。

・本機に使用する充電用機器は、必ず当社指定のものをご使用ください。
・電池パック単体で充電することはできません。必ず本機に電池パックを取り付けた状態で充電してください。電池パックなしの状態では、充電することも電源を入れることもできません。
・充電器を長時間ご使用にならない場合は、プラグをコンセントから抜いてください。

電池パックの持ちについて

次のような使いかたや操作をすると、電池パックの消耗が早まり、利用可能時間が短くなります。

■使用環境
- 極端な低温または高温の状態での使用、および保存(5～40℃の温度範囲でご使用ください)
- 電波の弱い場所での通話や、圏外表示での待ち受け(なるべく電波状態の良い環境でご使用ください)
- 本機や電池パック、充電器の充電端子の汚れ(汚れのために接触が悪くなると、正常に充電できなくなります)

■操作
- カメラでの撮影を何度も行ったとき
- 動画や音楽を再生したとき
- メール作成などで連続した操作をしたとき(照明の点灯時間が長くなるため)
- Bluetooth®通信を何度も行ったとき

■設定
- スライドショーを設定しているとき
- ⊟(スタート)▶「設定」▶「次へ...」▶「パワーマネージメント」を選択し、「画面の明るさ」欄で明るさのレベルを上げているときや、長時間の点灯を設定しているとき

故障かな?と思ったら

電源が入らない

☑ 電池切れになっていませんか?
➡ 電池パックを交換するか充電してください(➲P.71)。

☑ 電池パックが本機に装着されていますか?
➡ 正しく装着してください(➲P.71)。

電源を入れたのに操作できない

☑ PINコードを入力する画面が表示されていませんか?
➡ PINコードを入力してください(➲P.64)。

操作ができない

☑ パスワード入力の画面が表示されていませんか?
➡ デバイスのロックが設定されているので、パスワードを入力してください。(➲P.64)。

電源を入れたときや機能の操作時に「SIMカードが見つからないか、無効です。」と表示される

☑ USIMカードは正しく取り付けられていますか?
➡ USIMカードが正しく取り付けられていることを確認してください(➲P.70)。正しく取り付けられているのに表示が出る場合は、破損している可能性があります。

☑ USIMカードのデータ読み込み中ではありませんか?
➡ しばらくたってから操作し直してください。

☑ 違ったUSIMカードをお使いではありませんか?
➡ 正しいUSIMカードであることを確認してください。当社で指定されたUSIMカードを使用してください。

☑ USIMカードのIC部分に指紋などの汚れがついていませんか?
➡ 乾いたきれいな布で汚れを落として、正しくお取り付けください。

「 」が表示され、電話がかけられない

☑ サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか?
➡ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。

通話が途切れたり、切れたりする

☑ 「 」が表示されているか、または電波状態が悪い場所にいませんか?
➡ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。

☑ 電池切れになっていませんか?
➡ 電池パックを交換するか充電してください(➲P.71)。

電話がかけられない

☑ 発着信規制サービスの発信規制が設定されていませんか?
➡ 発信の規制を停止してください。

☑ ワイヤレスマネージャーで電話が「オフ」に設定されていませんか?
➡ 電話を「オン」に設定してください。

通話中に「プチッ」と音が入る

☑ 電波が弱くなって別のエリアに切り替わるときに発生することがあります。

充電できない

☑ 急速充電器の接続コネクター/変換ケーブルの接続コネクターが確実に差し込まれていますか?
➡ 確実に差し込んでください(➲P.72)。

☑ 急速充電器のプラグがしっかりとコンセントに差し込まれていますか?
➡ 確実に差し込んでください(➲P.72)。

☑ 電池パックが本機に取り付けられていますか?
➡ 正しく取り付けてください(➲P.72)。

☑ 本機および電池パックの充電端子、急速充電器の接続コネクター、変換ケーブルの接続コネクター、本機の外部接続端子が汚れていませんか?
➡ 乾いた綿棒などで端子部の汚れを落としてください。

☑ 周囲の温度が5℃より低い場所または40℃を超える場所で充電していませんか?
➡ 周囲の温度が5 ~ 40℃の範囲内で充電してください。

☑ 電池パックに異常はありませんか?
➡ 新しい電池パックに交換してください。

☑ 充電を繰り返しても、十分に充電できませんか?
➡ 電池パックの交換時期です。新しい電池パックに交換してください(➲P.71)。

☑ 充電中に本機や電池パックの温度が上昇していませんか?
➡ 温度が上昇すると充電を中断することがあります。本機や電池パックが冷めてから、充電し直してください。

熱くなる

☑ 充電中に、急速充電器が発熱することがあります。

☑ 充電したり、長時間通話したりすると本機が発熱することがあります。
➡ 手で触れることのできる温度であれば、異常ではありません。手で触れられないほど熱くなった場合はただちに充電、使用を中止してお問い合わせ先(➲P.110)までご連絡ください。

電池の消費が早い

☑ 使用環境(気温/充電状況/電波状態)、操作や設定状況によっては電池の消費が早くなります。
➡ 適切な環境下でご使用のうえ、電池の消費の大きな機能の使用を控えてください(➲P.72)。

ディスプレイの表示がちらつく

☑ 蛍光灯の近くで使用していませんか?
➡ 蛍光灯からなるべく離れてご使用ください。

ディスプレイの表示が暗くなったり消えたりする

☑ ディスプレイの特性によるものです。故障ではありません。暗くなったり消えたりするまでの秒数はパワーマネージメントの設定で変更できます。

スピーカーで音楽が再生できない

☑ 「サイレント」または「バイブ」が設定されていませんか?
➡ 「サイレント」および「バイブ」以外のプロファイルに切り替えてください。

☑ マイクイヤホンを接続していませんか?
➡ マイクイヤホンの接続コネクターを本機から抜いてください。

「電話の機能は現在停止中です。電話の機能を有効にしますか?」と表示された

☑ ワイヤレスマネージャーで電話が「オフ」に設定されているときに電話やメール送信しようとしたときに表示されます。
➡ 電話を「オン」に設定してください。

プログラムを起動してもそのプログラムの最初の画面が表示されない

☑ すでにそのプログラムを起動していませんか?
➡ プログラムを起動している場合は、最後に動作していた状態の画面が表示されます。一度プログラムを終了させてから、再度起動させてください。

スタートメニュー一覧

- SoftBankメール
- メール
- 連絡先
- 予定表
- Internet Explorer
- Windows Media
- コンテンツマネージャ
- 設定
  - 電話
  - サウンド
  - 表示
  - プロファイル
  - 日付／時刻
  - 接続
  - セキュリティ
  - プログラムの削除
  - パワーマネージメント
  - メモリ情報
  - キー設定
  - 地域
  - オーナー情報
  - ユーザー補助
  - バージョン情報
  - バージョン
  - エラー報告
  - カスタマーフィードバック
  - 管理プログラム
  - 電子メールの設定
  - デバイス名
- Marketplace
- Microsoft My Phone
- Messenger
- インターネット共有
- ActiveSync
- Windows Live
- MSN 天気予報
- MSN マネー
- お使いになる前に
- ゲーム
  - Bubble Breaker
  - ソリティア
- エクスプローラー
- 検索ウィジェット
- アプリケーション
  - Adobe Reader LE
  - Java
  - RSSリーダー
  - カメラ
  - スピード ダイヤル
  - タスク マネージャー
  - フォトスライド
  - 通話履歴
  - Office Mobile
    - Excel Mobile
    - OneNote Mobile
    - PowerPoint Mobile
    - Word Mobile
- ツール
  - D-ディ
  - アラーム
  - ストップウォッチ
  - チップ
  - ボイス メモ
  - 検索
  - 仕事
  - 世界時計
  - 単位換算
  - 電卓

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。

- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷[1]を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷[1]を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷[2]を負う可能性が想定される場合および物的損害[3]のみの発生が想定される」内容です。

1 重傷とは、失明・けが・高温やけど・低温やけど（体温より高い温度の発熱体を長時間肌にあてていると紅斑、水疱などの症状を起こすやけど）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
2 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示します。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

本機、電池パック、USIMカード、充電器（オプション品）、メモリカード（オプション品）の取り扱いについて（共通）

⚠危険

本機に使用する電池パック・充電器（オプション品）は、ソフトバンクが指定したものを使用してください。 指示

指定品以外のものを使用した場合は、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、充電器の発熱・発火・故障などの原因となります。

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。 分解禁止

火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。電話機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。

濡らさないでください。 水濡れ禁止

水やペットの尿などの液体が入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れた電池パックを充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で充電・使用・放置しないでください。 禁止

機器の変形・故障や電池パックの漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

本機に電池パックを取り付けたり、充電器を接続する際、うまく取り付けや接続ができないときは、無理に行わないでください。電池パックや端子の向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。 禁止

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

⚠警告

本機・電池パック・充電器を、加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH 調理器）の上に置いたりしないでください。 禁止

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機と充電器の発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。 指示

本機の熱でガスに引火する恐れがあります。

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。 指示

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。

使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。 指示

1. コンセントから充電器を持ってプラグを抜いてください。
2. 本機の電源を切ってください。
3. やけどやけがに注意して、電池パックを取り外してください。

異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

充電端子や外部接続端子、外部メモリーカードホルダに水やペットの尿などの液体や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。 禁止

ショートによる火災や故障などの原因となります。

注意

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。 禁止

落下して、けがや故障などの原因となります。バイブレータ設定中や充電中は、特にご注意ください。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。 指示

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。 指示

けがなどの原因となります。

電池パックの取り扱いについて

危険

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認した上で、ご利用・処分をしてください。 禁止

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

火の中に投下しないでください。 禁止

電池パックを漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。 禁止

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

電池パックの端子に、針金などの金属類を接触させないでください。また、導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）と一緒に電池パックを持ち運んだり保管したりしないでください。 禁止

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

電池パック内部の液が眼の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。 指示

失明などの原因となります。

警告

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。 指示

皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。 指示

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

電池パックの使用中・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して電池パックを取り外し、さらに火気から遠ざけてください。 指示

異常な状態のまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

注意

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。 禁止

端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りの「ソフトバンクショップ」へお持ちください。
電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

本機の取り扱いについて

警告

自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。 指示

交通事故の原因となります。
乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。
運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。 禁止

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ **ご注意いただきたい電子機器の例**
補聴器・植込み型心臓ペースメーカ・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など

本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。 指示

機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。

心臓の弱い方は、着信時のバイブレーション（振動）や着信音量の設定に注意してください。 指示

心臓に影響を与える恐れがあります。

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。 指示

落雷や感電の原因となります。

注意

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。 禁止

本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。

本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。 指示

本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。

使用箇所	使用材料、表面処理
表面外装周囲	PC / PVD (Physical Vapor Deposition)
裏面外装	PC / SPRAY
開始キー／ホームキー／クリアキー／終了キー／ナビゲーションキー／ソフトキー	PC / PVD (Physical Vapor Deposition)
サイドキー部分	PC + ポリウレタン / SPRAY
キーパッド	PC / SPRAY
電池カバー	PC / SPRAY

本機に磁気カードなどを近づけたり、挟んだりしないでください。 禁止

キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

ストラップなどを持って本機をふり回さないでください。 禁止

本人や周囲の人に当ったり、ストラップが切れたりして、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。 指示

長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

着信音が鳴っているときや、本機でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。 禁止

難聴になる可能性があります。

マイクイヤホンを使用するときは音量に気をつけてください。

指示

長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためたりする原因となります。

充電器(オプション品)の取り扱いについて

警告

充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

禁止

熱がこもって火災や故障などの原因となります。

指定以外の電源・電圧で使用しないでください。

禁止

指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。

急速充電器：

AC100V ～ 240V（家庭用 AC コンセント専用）

長時間使用しない場合は、充電器を持ってプラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

感電・火災・故障の原因となります。

万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちに充電器を持ってコンセントからプラグを抜いてください。

感電・発煙・火災の原因となります。

プラグにほこりがついたときは、充電器を持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などでふき取ってください。

指示

火災の原因となります。

充電器をコンセントに差し込むときは、充電器のプラグや端子に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込んでください。

感電・ショート・火災などの原因となります。

濡れた手で充電器のプラグを抜き差ししないでください。

濡れ手禁止

感電や故障などの原因となります。

雷が鳴り出したら、充電器には触れないでください。

禁止

感電などの原因となります。

注意

お手入れの際は、コンセントから、必ず充電器を持ってプラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

感電などの原因となります。

充電器をコンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、充電器を持ってプラグを抜いてください。

指示

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。

充電器をコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。

指示

けがや故障の原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会［平成９年４月］）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成 13 年３月「社団法人電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から 22cm 以上離して携行および使用してください。

指示

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどに確認してください。

指示

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

指示

- 手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、本機を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本機の電源を切ってください。電源が自動的に入る設定（アラーム機能など）をしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
- ロビーなど、携帯電話の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは本機の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

満員電車などの混雑した場所にいるときは、本機の電源を切ってください。付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている方がいる可能性があります。電源が自動的に入る設定(アラーム機能など）をしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

指示

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 事故や故障などにより本機またはメモリカードに登録したデータ（連絡先、画像、サウンドなど）が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な連絡先などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 本機は、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご利用いただくときは、まわりの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで本機を使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- **傍受にご注意ください。**
  本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとは言えません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。

  傍受（ぼうじゅ）とは
  無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

自動車内でのご使用にあたって

- 運転中は、本機を絶対にご使用にならないでください。
- 本機をご使用になるために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- 本機を車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますので、ご注意ください。

航空機の機内でのご使用について

- 航空機の機内では、電源をお切りください。運航の安全に支障をきたす恐れがあります。
  機内で携帯電話が使用できる場合は航空会社の指示に従い適切にご利用ください。

機能制限について

- 機種変更または解約した場合、本機では次の機能が利用できなくなります。
  - カメラ
  - メディアプレイヤー　など
- 本機を長期間お使いにならなかった場合、上記の機能が利用できなくなる可能性があります。

お取り扱いについて

- 本機の電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録、設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機は5 ～ 40℃の範囲でご使用ください。極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管は避けてください。
- カメラ部分に、直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
- 本機を落下させたり衝撃を与えたりしないでください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 雨や雪の日など、湿気の多い場所でご使用になるときは、水に濡らさないように十分ご注意ください。
- 本機は精密部品で作られた無線通信装置です。絶対に分解、改造はしないでください。
- 本機のディスプレイを堅いものでこすったり、傷つけないようにご注意ください。
- ステレオヘッドフォンの中には開放型のものがあり、音が外に漏れることがあります。周囲の人の迷惑にならないようにご注意ください。
- **本機は防水仕様にはなっていません。水に濡らしたり、湿度の高い所に置かないでください。**
  - 雨の日にバッグの外のポケットに入れたり、手で持ち歩かないでください。
  - エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。
  - 洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れて、身体をかがめたりすると、洗面所に落としたり、水で濡らす原因となります。
  - 海辺などに持ち出すときは、海水がかかったり直射日光が当たらないように、バッグなどに入れてください。
  - 汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れないでください。手や身体の汗が本機の内部に浸透し、故障の原因になる場合があります。
- 本機に無理な力がかかるような場所には置かないでください。故障やけがの原因となります。
  - 本機をズボンやスカートの前、または後ろのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり座席や椅子などに座らないでください。特に、厚い生地の衣服のときはご注意ください。
  - 荷物の詰まった鞄などに入れるときは、重たいものの下にならないようにご注意ください。
- 本機の充電端子／外部接続端子に指定品以外の商品は取り付けないでください。誤動作を起こしたり、本機を傷めることがあります。
- 電池パックを取り外すときは、必ず本機の電源を切ってから取り外してください。データの登録やメールの送信などの動作中に電池パックを取り外さないでください。データの消失、変化、破損などの恐れがあります。

著作権などについて

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。

上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製(データ形式の変換を含む)、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。

本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

本機に搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作者人格権などをはじめとする著作者等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等は行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

登録商標について

- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。

  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations:

  4,901,307 5,490,165 5,056,109 5,504,773 5,101,501 5,506,865 5,109,390 5,511,073 5,228,054 5,535,239 5,267,261 5,544,196 5,267,262 5,568,483 5,337,338 5,600,754 5,414,796 5,657,420 5,416,797 5,659,569 5,710,784 5,778,338
- S!メールはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。
- SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
- 「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
- XT9 is licensed by Tegic Communications. All Rights Reserved.
- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Adobe®、Acrobat®、Reader®とそれぞれのロゴは、米国Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

- THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.
- Contains Macromedia® Flash® Flash Lite™ technology by Adobe Systems Incorporated.
- Copyright © 1995-2005 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
- Macromedia, Flash, Macromedia Flash, and Macromedia Flash Lite are trademarks or registered trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and other countries.
- JavaおよびJavaに関連する商標は、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- microSD™、microSDHC™はSDアソシエーションの商標です。
- Bluetooth is a trademark of the Bluetooth SIG, Inc. The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Samsung Electronics is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.
- Powered by SwiftDecoder™ Copyright ©1996-2007, Omniplanar, Inc. All Rights Reserved.
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Mobile、ActiveSync、Outlook、PowerPoint、Windows Media、Internet Explorer、Windows Live、Hotmail、Excel、およびOneNote は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- WindowsはMicrosoft Windows operating systemの略称として表記しています。
- その他、記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

Bluetooth® ／ワイヤレスLAN(無線LAN)について

本機のBluetooth® ／ワイヤレスLAN(無線LAN)機能の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ラインなどで使用されている構内無線局、アマチュア無線局など(以下、「他の無線局」と略す)が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

1 使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Bluetooth®機能の使用を停止(電波の発射を停止)してください。
3 その他不明な点やお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：ソフトバンクモバイルお客様センター
ソフトバンク携帯電話から　157(無料)
※一般電話からおかけの場合、「お問い合わせ先一覧」(➔P.110)を参照してください。

この無線機器は、2.4 GHz帯を使用します。変調方法としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は1.5～5m以下です。
与干渉距離は、周囲の環境により変化します。
Bluetooth QD ID: B014543

携帯電話の比吸収率(SAR)について

本機X01SCの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR：Specific Absorption Rate)について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの証明(技術基準適合証明)を受ける必要があります。

この携帯電話機X01SCも財団法人テレコムエンジニアリングセンターから技術基準適合証明を受けており、SARは 0.349 W/kgです。

この値は、技術基準適合証明のために財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。

個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm

社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/

※技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

「ソフトバンクのボディ SARポリシー」について

* ボディ(身体)SARとは：携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にマイクイヤホン等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率(SAR)のことです。

** 比吸収率(SAR)：6分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。当社では、ボディ SARに関する技術基準として、米国連邦通信委員会(FCC)の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

*** 身体装着の場合：一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

ソフトバンクモバイルのホームページからも内容をご確認いただけます。

http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.html

米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。

この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。測定試験は機種ごとにFCCが定めた基準で実施され、下記のとおり本取扱説明書の記載に従って身体に装着した場合は 0.462 W/kgです。

身体装着の場合：この携帯電話機「X01SC」では、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。

比吸収率(SAR)に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のホームページを参照してください。

Cellular Telecommunications &Internet Association(CTIA)のホームページ(英文のみ)
http://www.phonefacts.net

欧州における電波ばく露の影響に関する情報

この携帯電話機X01SCは無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。

この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSAR許容値は2W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は0.857 W/kg※です。

SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

世界保健機関のホームページ(英文のみ)
http://www.who.int/emf

※身体に装着した場合の測定試験は、FCCが定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。

主な仕様

定格および仕様は予告なく変更することがあります。

SoftBank X01SC

項　目	仕　様
質量	約103.9 g
連続通話時間	3Gネットワーク：約350分 GSMネットワーク：約400分
連続待受時間(ディスプレイ消灯時)	3Gネットワーク：約531時間 GSMネットワーク：約520時間
充電時間	急速充電器：約213分
サイズ(W×H×D)	約59.7×111.9×12.6 ㎜
最大出力	3Gネットワーク：0.25 W GSMネットワーク：2 W

- 上記は、電池パック装着時の数値です。
- 電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や「圏外」表示での待ち受けは電池の消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。
- ディスプレイの照明がついている状態でのご利用(Internet Explorerの操作など)が多い場合、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
- 連続通話時間とは、「静止状態で連続して通話状態を保った場合の計算値」、また連続待受時間とは、「充電を満たした新品の電池パックを装着し、本機を閉じた状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態により算出した計算値」です。実際に使う場合は、通話と待ち受けの組み合わせとなるため、通話時間も待受時間も短くなります。連続通話時間ならびに連続待受時間は、使用環境(充電状態、気温など)によって変動することがあります。

電池パック

項　目	仕　様
電圧	3.7 V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	1480 mAh
サイズ(W×H×D)	約51.3×36.85×8.4 ㎜ (突起部を含まず)

索引

欧字

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

保証とアフターサービス

保証について

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。

本製品の故障、または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

修理を依頼される場合

「故障かな?と思ったら」(➔P.73)をお読みのうえ、もう一度お確かめください。それでも異常がある場合は、ご契約いただいた各地域の故障受付(➔P.110)または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。

その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

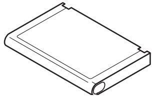
- 故障または修理により、お客様が登録・設定した内容が消去・変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ(電話帳やデータフォルダの内容など)や設定した内容が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解、改造すると電波法に触れることがあります。また、改造された場合は修理をお引受けできませんので、ご注意ください。

First Step Guide

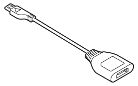
Before Using Handset

Accessories

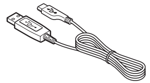
Battery [SCBAV1]



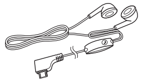
Conversion Cable [SCDAV1]



USB Cable [SCDAU1]



Stereo Earphone Microphone*



* Complimentary sample not available for purchase.

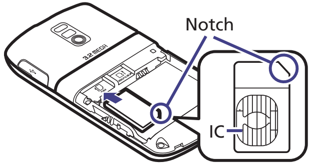
USIM Card Installation

USIM Card must be inserted to use X01SC. Turn X01SC off and remove battery before inserting/removing USIM Card.

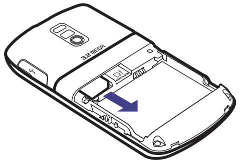
To prevent damaging it, avo d touch ng IC ch p when inserting or removing USIM Card.

1 Remove Battery

2 Insert USIM Card
Insert USIM Card with IC Chip down as shown below.

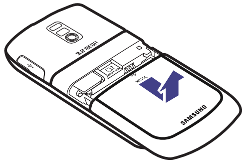


2 Remove USIM Card
Push in USIM Card until it stops.

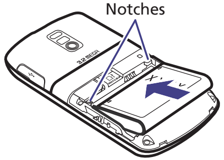


Battery Installation

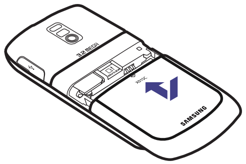
1 Remove Battery Cover
Pressing down, use thumb to slide Battery Cover loose; then remove it completely.



2 Insert Battery
Align battery slots w th handset notches to insert battery.



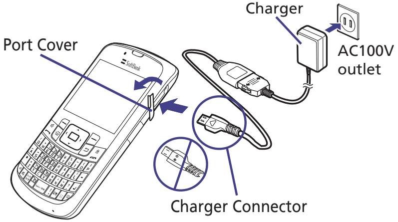
3 Replace Battery Cover
Align Battery Cover tabs with handset slots; pressing down, slide it closed.



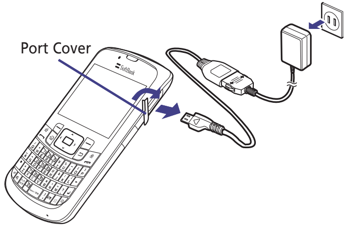
Charging Battery

While charging, battery indicator charges as follows: →→→. flashes when battery is full.
Charging time is approximately 213 minutes.

1 Plug in Charger & Insert Charger Connector
Connect Conversion Cable to AC Charger. Plug Charger into an AC 100V outlet. Open Port Cover; with arrow side facing up, insert Charger Connector into External Device Port.



2 Unplug Charger & disconnect handset



USIM PINs

USIM Card features two security codes: PIN and PIN2.

Change PIN and PIN2 as required.

PIN

4- to 8-digit security code; prevents unauthorized handset use.

Set PIN certification to On to require PIN entry at power on.

PIN2

4- to 8-digit security code required to edit contact information saved on USIM Card.

Canceling PIN Lock (PUK/PUK2 Code★)

Incorrectly entering PIN or PIN2 three consecutive times activates PIN Lock, limiting X01SC function access.

Enter PUK (PIN Unlocking Key) Code to cancel PIN Lock.

For more information, contact SoftBank Mobile Customer Center, General Information.

★Enter ng PUK/PUK2 incorrectly ten consecutive times locks USIM Card and disables X01SC. Wr te down PUK and PUK2. Unlocking USIM Card requires special serv ce. Contact SoftBank Mobile Customer Center, General Information.

Security Codes

Phone Password, Center Access Code and Network Password are required to use X01SC.

Phone Password

4-digit number required to use or change handset functions. Entered digits appear as *. If incorrect, error message appears; try again.

Center Access Code

4-digit number specified at subscription; use to subscribe to fee-based information/ access Voice Mail via landlines.

Network Password

4-digit number spec fied at subscription; use for Call Barring, etc. Entering it incorrectly three consecutive times locks Call Barring settings. To resolve, Network Password and Center Access Code must be changed.

For details, contact SoftBank Mobile Customer Center, General Information.

Change Phone Password/Network Password on X01SC.

Mobile Manners

USIM Card must be inserted to use X01SC.
Turn X01SC off and remove battery before inserting/removing USIM Card.
X01SC offers two manner-related profiles (see below).

Silent Profile

Mute handset sounds for all alerts, tones, and alarms. Use Silent Profile Key to activate or cancel Silent Profile.

Press [key] for 2+ seconds

Offline Mode

Temporarily suspends all handset transmissions.
Other functions may be used.

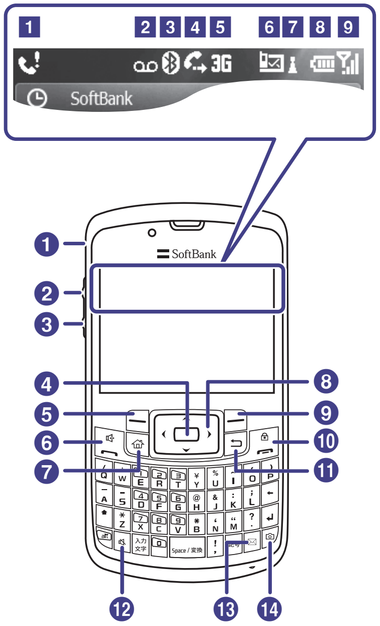
[key] ➡ *Wireless Manager* ➡ Phone field ➡ [key]

Specifications

Weight	103.9 g*
Continuous Ta k Time	3G Network: 350 minutes* GSM Network: 400 minutes*
Continuous Standby Time (Display off)	3G Network: 531 hours* GSM Network: 520 hours*
Charging Time (power off)	AC Charger: 213 minutes*
Dimensions (W x H x D)	59.7 x 111.9 x 12.6 mm*
Max mum Output	3G Network: 0.25 W GSM Network: 2 W

* Approximate value

Display Indicators & Key Assignments



Display Ind cators	
1	Missed Call
2	Unheard Answer ng Mach ne Message
3	Bluetooth Connection Status
4	Unconditional Call Forwarding is On
5	Network Connect on Status
6	New Message (S! Mail/SMS/E-Mail)
7	Wi-Fi Connect on Status
8	Battery Level
9	S gnal Strength

Key Assignments	
1	Power on/off
2	Volume Up
3	Volume Down
4	Execute selected item or command
5	Execute Left Softkey command
6	In tiate or accept Voice Call
7	Return to Home Screen
8	Select menus/ con or scroll page/window
9	Execute Right Softkey command
10	End operations. Activate/cancel Keypad Lock.
11	Return to previous menu/window
12	Long press to activate/cancel Silent Profile
13	Open Messaging menu
14	Activate Camera

Function List

Main Menu

- SoftBank Mail
- Messaging
- Contacts
- Calendar
- Internet Explorer
- Windows Media
- Contents Manager
- Settings
  - Phone
  - Sounds
  - Display
  - Profiles
  - Date and Time
  - Connections
  - Security
  - Remove Programs
  - Power Management
  - Memory Info
  - Key Settings
  - Regional Settings
  - Owner Information
  - Accessibility
  - About
  - Version
  - Error Reporting
  - Customer Feedback
  - Managed Programs
  - Setup E-mail
  - Device Name
- Marketplace
- Microsoft My Phone
- Messenger
- Internet Sharing
- ActiveSync
- Windows Live
- MSN天気予報
- MSNマネー
- Getting Started
- Games
  - Bubble Breaker
  - Solitaire
- File Explorer
- 検索ウィジェット
- Applications
  - Adobe Reader LE
  - Call History
  - Camera
  - Java
  - Photo Slides
  - RSS Reader
  - Speed Dial
  - Task Manager
  - Office Mobile
    - Excel Mobile
    - OneNote Mobile
    - PowerPoint Mobile
    - Word Mobile
- Organizer
  - Alarms
  - Calculator
  - D-Day
  - Search
  - Smart Converter
  - StopWatch
  - Tasks
  - Tip Calculator
  - Voice Notes
  - World Clock

Handset Functions

Basic Operations

Handset Power On/Off

■ Power ON

for 1+ seconds until Display illuminates

■ Power Off

➡ *Power off* until Display goes dark

English Interface

スタート ➡ *設定* ➡ *次へ...* ➡ *地域* ➡ *言語* ➡ *US English* ➡ 完了 ➡ OK ➡ Power off ➡ Power on

Setting Clock

Start ➡ *Settings* ➡ *Date and Time* ➡ Time zone field ➡ Select an item ➡ Date field ➡ Enter year, month and day ➡ Time field ➡ Enter time (12/24-hour format) ➡ Auto update field ➡ *On* ➡ Done

My Number (Account Details)

Start ➡ *Settings* ➡ *Phone* ➡ *Own Numbers*

· to exit

Calling

Voice Call

➡ Enter phone number ➡ Confirm entry ➡

· to end the call

Redialing

Start ➡ *Applications* ➡ *Call History* ➡ Select a record ➡

· to end the call

International Call

Details available on SoftBank Mobile Website: http://mb.softbank.jp/en/global_services/call/

➡ Enter phone number including area code ➡ Confirm the number ➡

· to end the call

Global Roaming

Apply for Global Roaming Service beforehand. For information, see SoftBank Mobile Website: http://mb.softbank.jp/en/global_services/

> To call a SoftBank handset overseas, enter handset phone number; country code is not required.

Receiving a Call

When X01SC rings/vibrates,

· to end the call

Text Entry

Changing Text Entry Mode

In a text entry window, ➡ Select entry mode



あ	Hiragana + ➡ Hiragana
ｶ	Single-byte Katakana + ➡ Half width Katakana
カ	Double-byte Katakana + ➡ Full width Katakana
abc	Single-byte Alphanumerics + ➡ Half width English ➡ ➡
abc	Double-byte Alphanumerics + ➡ Full width English ➡ ➡
12#	Single-byte Numbers ➡
SYM	Symbols

Contacts

Contact Entry Items

■Phone Number

Save up to nine numbers; USIM Card Contacts entry limit varies by card.

■E-mail Address

Save up to three addresses; USIM Card Contacts character entry limit varies by card.

Saving to Contacts

Contacts ➡ New ➡ *Outlook Contact / SIM Contact* ➡ Name field ➡ Enter a name ➡ Mobile phone field ➡ Enter number ➡ Work phone field ➡ Enter number ➡ E-mail field ➡ Enter address ➡ Done

Editing Entries

Contacts ➡ Highlight Contact to edit ➡ Menu ➡ *Edit* ➡ Editing Entries ➡ Done

Dialing via Contacts

Contacts ➡ Search an entry ➡

Messaging

S! Mail & SMS

■S! Mail
Exchange long messages (up to 30,000 single- or 15,000 double-byte characters) with S! Mail compatible SoftBank handsets, or other devices via E-mail addresses; attach media/other files for multimedia messaging.

■SMS
Exchange up to 70 double-/single-byte characters or 140 single-byte alphanumerics with SMS compatible SoftBank handsets. Use handset phone numbers as mail addresses.

■Internet Mail
Set up PC-based mail accounts; read, reply, or attach files to messages as you would on a PC.

Sending Messages

■S! Mail
Start ➡ *SoftBank Mail* ➡ *Create Message* ➡ *S! Mail* ➡ Recipients field ➡ *New Recipients* ➡ Enter mail address ➡ Subject field ➡ Enter subject ➡ Media field ➡ Select a media ➡ Select a file ➡ Select ➡ Done ➡ Text field ➡ Enter message ➡ Send

■SMS
Start ➡ *SoftBank Mail* ➡ *Create Message* ➡ *Text Message* ➡ Recipients field ➡ *New Recipients* ➡ Enter phone number ➡ Text field ➡ Enter message ➡ Send

■Internet Mail
Start ➡ *Messaging* ➡ Select an item ➡ Menu ➡ *New* ➡ To field ➡ Enter mail address ➡ Subject field ➡ Enter subject ➡ Text field ➡ Enter message ➡ Send

Setting Up Internet Mail

Start ➡ *Messaging* ➡ *Setup E-mail* ➡ E-mail address field ➡ Enter mail address ➡ Password field ➡ Enter password ➡ Check Save password field to save password ➡ Next ➡ Next ➡ Accept ➡ Next ➡ Next ➡ Done

Receiving Messages

In Standby, not fication appears for new message. Select View

Voicemail

Activating Voicemail

Start ➡ *Settings* ➡ *Phone* ➡ *Voice Calls* ➡ *Call Forwarding* ➡ *Unconditional* / *No Reply (5-30 sec.)* / *Busy* / *Unavailable* ➡ Select *Voicemail* in Forward voice calls to field ➡ Done

Playing Massages

When a caller saves a Voicemail message, a notification and appear in Standby.

■When Notification Appears
Notification ➡ by the record ➡ Follow voice prompts

■When Notification does not Appear
for 1+ seconds ➡ Follow voice prompts

Mobile Camera

Capturing Still Images

➡ Frame image in Viewfinder ➡ ➡ Save

Recording Video

➡ Menu ➡ *Camera Mode* ➡ *Camcorder* ➡ Frame image in Viewfinder ➡ ➡ ➡ Save

Media Player

Playing Music

Start ➡ *Windows Media* ➡ *My Music* ➡ *All Music* ➡ Select an item

■Music Window



■Video Window



Creating Playlists

Start ➡ *Windows Media* ➡ *My Music* / *My Videos* / *My TV* ➡ Select item ➡ Highlight music / movie ➡ Menu ➡ *Queue Up** ➡ In Library window, *Now Playing* ➡ Menu ➡ *Save Playlist* ➡ Enter Playlist name ➡ Done

* Operate Highlight music / movie ➡ Menu ➡ *Queue Up* to load all files.

Playing Playlist

Start ➡ *Windows Media* ➡ *My Playlists* ➡ Select a Playlist ➡ Select an item

Internet Applications

Internet Explorer

Start ➡ *Internet Explorer*

RSS Reader

Start ➡ *Applications* ➡ *RSS Reader*

Managing Files

Using File Explorer

Start ➡ *File Explorer* ➡ Select a folder ➡ Select a file

Using Contents Manager

Start ➡ *Contents Manager* ➡ Select a folder ➡ Select a file

Formatting Memory Card

Start ➡ *Settings* ➡ *More...* ➡ *Security* ➡ *More...* ➡ *Master Clear* ➡ Enter Phone Password ➡ Done ➡ *Storage Card* ➡ Yes

Software Update

Adding Applications

- Use ActiveSync/Windows Mobile Device Center to connect handset to PC; activate Installer on PC.
- Download Installer via Internet; use File Explorer to activate Installer on handset.

Deleting Applications

Start ➡ *Settings* ➡ *More...* ➡ *Remove Programs* ➡ Highlight a Program ➡ Menu ➡ *Remove* ➡ Yes

General Notes

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver.

 t is designed and manufactured not to exceed the emiss on l mits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communicat ons Commiss on of the U.S. Government.

The guidel nes are based on standards that were developed by independent sc entific organizations through period c and thorough evaluation of scient fic stud es. The standards nclude a substantial safety margin des gned to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a un t of measurement known as the Spec fic Absorption Rate, or SAR. The SAR l mit set by the FCC is 1.6 W/kg.

The tests are performed n pos t ons and locat ons (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The h ghest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.428 W/kg and when worn on the body, as described n this user guide, is 0.462 W/kg.

Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5 cm from the body. To ma ntain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessor es that mainta n a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of belt clips, holsters and s milar accessories should not conta n metallic components n ts assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as n compliance w th the FCC RF emission gu delines. SAR informat on on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/fccid after searching on FCC ID : A3LSWDX01SC.

Add t onal informat on on Spec fic Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Associat on (CTIA) website at http://www.phonefacts.net.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transm tter and receiver. It is des gned not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by nternational guidel nes. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICN RP and include safety margins des gned to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The gu delines use a unit of measurement known as the Specific Absorpt on Rate, or SAR. The SAR limit for mobile dev ces is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.701 W/kg*. As mobile devices offer a range of funct ons, they can be used in other pos t ons, such as on the body as described in this user gu de. In this case, the highest tested SAR value is 0.857 W/kg.

As SAR is measured utilizing the dev ces highest transm tting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure t only uses the minimum level requ red to reach the network.

The World Health Organizat on has stated that present scientific informat on does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

* The tests are carried out in accordance with internat onal gu delines for testing.

Safety Precautions

Use specified battery and Charger (sold separately) only.

Non-specified equipment use may cause battery to leak, overheat, burst or ignite, and may cause Charger to overheat, ignite, malfunction, etc.

Do not disassemble, modify or solder handset or related hardware.

May cause fire, njury, electr c shock or malfunct on. Battery may leak, overheat, burst or gnite. Mod fying handsets is proh b ted by the Radio Law and subject to a penalty.

Do not expose handset or related hardware to liquids.

Do not leave handset or related hardware wet after exposure to water, pet ur ne, etc., and do not charge wet battery. May cause overheating, electric shock, fire, injury or malfunct on. Use them n an appropriate place properly.

Do not charge battery in or expose handset or related hardware to extreme heat (e.g., near fire or sources of heat, in direct sunlight, inside vehicles, etc.).

May cause warping/malfunct on; battery may leak, overheat, gnite or burst. Handset or related hardware may become hot to the touch, leading to burn njuries, etc.

Do not force battery/Charger into handset. Check the direction and retry.

Battery may leak, overheat, burst, gn te, etc.

Customer Service

For SoftBank handset or service information, call General Information. For repairs, call Customer Assistance.

SoftBank Mobile Customer Center
From a SoftBank handset, dial 157 for General Informat on, or 113 for Customer Assistance, toll free.

SoftBank Mobile Global Call Center
From outside Japan, dial **+81-3-5351-3491.** (Please take care to dial correctly. Internat onal charges will apply.)

Call these numbers toll free from landlines.

Subscription Areas	Contact	
Hokkaido, Aomori, Akita, Iwate, Yamagata, Miyagi, Fukushima, Niigata, Tokyo, Kanagawa, Chiba, Saitama, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Yamanashi, Nagano, Toyama, Ishikawa, Fukui	General Information	0088-240-157
	Customer Assistance	0088-240-113
Aichi, Gifu, Mie, Shizuoka	General Information	0088-241-157
	Customer Assistance	0088-241-113
Osaka, Hyogo, Kyoto, Nara, Shiga, Wakayama	General Information	0088-242-157
	Customer Assistance	0088-242-113
Hiroshima, Okayama, Yamaguchi, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Oita, Kumamoto, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa	General Information	0088-250-157
	Customer Assistance	0088-250-113

お問い合わせ先

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ先までご連絡ください。
番号はお間違いのないようにおかけください。

ソフトバンク携帯電話から

ソフトバンクモバイルお客さまセンター	
総合案内	157(無料)
紛失・故障受付	113(無料)

ソフトバンクモバイル国際コールセンター	
海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡	+81-3-5351-3491(有料)

一般電話から

ご契約地域	お問い合わせ先	
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	フリーコール 0088-240-157(無料)
	紛失・故障受付	フリーコール 0088-240-113(無料)
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	フリーコール 0088-241-157(無料)
	紛失・故障受付	フリーコール 0088-241-113(無料)
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	フリーコール 0088-242-157(無料)
	紛失・故障受付	フリーコール 0088-242-113(無料)
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	フリーコール 0088-250-157(無料)
	紛失・故障受付	フリーコール 0088-250-113(無料)

SoftBank X01SC 使い方ガイド

ご注意

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告なしに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたらお問い合わせ先（➔P.110）までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

2009年　12月　第2版発行

ソフトバンクモバイル株式会社

ご不明な点はお求めになられた
ソフトバンク携帯電話取扱店に
ご相談ください。

機種名：SoftBank X01SC
製造元：Samsung Electronics Co.,Ltd.

SoftBank X01SC Starter Guide 使い方ガイド

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。
※回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
※プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（電話帳、通話履歴、メール等）は、事前に消去願います。